

文部科学省 平成24年度
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業

平成25年度 活動報告書

順天堂大学
島根大学
鳥取大学
岩手医科大学
東京理科大学
明治薬科大学
立教大学

文部科学省 平成 24 年度
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」
選定事業

平成 25 年度活動報告書

順天堂大学
島根大学
鳥取大学
岩手医科大学
東京理科大学
明治薬科大学
立教大学

目 次

第 1 編 事業概要報告（平成 25 年度）	1
1. 事業の概要	2
1-1 参加大学名（設置者名）	2
1-2 プログラム名	3
1-3 事業名称	3
1-4 本事業の概要	3
1-5 順天堂大学 次世代先導的がん研究者養成コース	4
1-6 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）	5
1-7 島根大学 地域がん専門医育成コース	6
1-8 島根大学・鳥取大学 山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）	7
1-9 鳥取大学 がん看護専門（認定）看護師養成コース	8
1-10 岩手医科大学 緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース	9
1-11 岩手医科大学 先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース（インテンシブ）	10
1-12 東京理科大学 がんシステム・創薬研究者養成コース	11
1-13 明治薬科大学 がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース	12
1-14 立教大学 医学物理研究コース	13
1-15 がんに特化した講座の設置	14
第 2 編 平成 25 年度の取り組み	17
1. 外部評価委員会	18
1-1 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン外部評価委員会	18
2. シンポジウム	22
2-1 がんプロ地域シンポジウム	22
2-2 がんプロ研究シンポジウム	24
2-3 がんプロ市民公開シンポジウム	26
2-4 がんプロ国際シンポジウム	28
3. ワークショップ	30
3-1 連携 7 大学 FD 研修会 in 島根	30
3-2 臨床研究研修会	36
4. 各大学企画講座	39
4-1 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブコース） 【医師・研究者向け統計講義】	39
4-2 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブコース） 【医学物理・放射線関係講義】	40
4-3 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブコース） 【薬剤師向け講義】	41
4-4 順天堂大学企画講座（セミナー）	41
4-5 順天堂大学市民公開講座	43
4-6 島根大学 神在りの窓メディカルカフェ	47
4-7 島根大学 山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ） 夏季セミナー	49
4-8 島根大学 放射線講義	49
4-9 島根大学 緩和ケア講義	51
4-10 島根大学 市民公開講座	53
4-11 岩手医科大学 がんプロ市民公開講座	56
4-12 東京理科大学『第 29 回薬学講座』	58
4-13 明治薬科大学 講演会	58
4-14 明治薬科大学 講演会	60
4-15 明治薬科大学 講演会	62
4-16 明治薬科大学 講演会	64

4-17	明治薬科大学 講演会	66
4-18	明治薬科大学 講演会	66
5.	連携大学 ICT 特別講義	67
5-1	連携大学 ICT 特別講義 『患者が求めるがん医療』	67
5-2	連携大学 ICT 特別講義 『新薬、機器開発 (PMDA)』	69
5-3	連携大学 ICT 特別講義 『がん医療コーディネーター (CRC/共同研究コーディネーター)』	71
5-4	連携大学 ICT 特別講義 『病診薬連携と地域医療・MSW (地域医療のメディカルソーシャルワーカー)』	73
6.	共同カンファレンス等	75
6-1	乳腺臨床・研究 TV カンファレンス	75
6-2	がんプロ (ICT と人で繋ぐがん医療維新プラン) 放射線治療関係者会議	76
6-3	がんプロ共同研究 婦人科がん会議	76
7.	ニュースレター	77
7-1	ニュースレター第 5 号	77
7-2	ニュースレター第 6 号	81
7-3	ニュースレター第 7 号	85
7-4	ニュースレター第 8 号	89

第 3 編 各委員会議

1.	運営連絡会	94
1-1	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (25-1)	94
1-2	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (25-2)	94
1-3	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (TV 会議) (25-3)	95
1-4	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (TV 会議) (25-4)	95
1-5	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (25-5)	96
1-6	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (TV 会議) (25-6)	96
1-7	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (25-7)	96
1-8	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (TV 会議) (25-8)	97

第 1 編

事業概要報告(平成 25 年度)

1. 事業の概要

1-1 参加大学名（設置者名）

順天堂大学大学院医学研究科

学校法人順天堂（東京都文京区本郷2丁目1番1号）
学長 木南英紀（事業推進代表者）

島根大学大学院医学系研究科

国立大学法人島根大学（島根県松江市西川津町1060）
学長 小林祥泰

鳥取大学大学院医学系研究科

国立大学法人鳥取大学（鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101）
学長 能勢隆之

岩手医科大学大学院医学研究科

学校法人岩手医科大学（岩手県盛岡市内丸19-1）
理事長 小川彰

東京理科大学大学院薬学研究科

学校法人東京理科大学（東京都新宿区神楽坂1丁目3番地）
理事長 中根滋

明治薬科大学大学院薬学研究科

学校法人明治薬科大学（東京都清瀬市野塩2丁目522番地1号）
理事長 久保陽徳

立教大学大学院理学研究科

学校法人立教学院（東京都豊島区西池袋3丁目34番1号）
総長 吉岡知哉

1-2 プログラム名

文部科学省 平成24年度 「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

1-3 事業名称

ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン

1-4 本事業の概要

順天堂大学はがん専門医療者の養成を行い、がん医療の底上げに貢献してきた。今後は、全国のがん患者に均等に医療者養成の成果を還元し得る臨床の連携、基礎と臨床が協働する医薬看理工連携が課題である。従来、地方と首都圏大学との人材交流は少なく、地方のがん医療人養成はマンパワーに問題があった。本プランでは、本学及び連携医科系大学と非医科系大学を ICT と循環型人材交流で結び、地域から世界まで、さらに基礎から臨床まで俯瞰するがん研究者・医療人の養成を目的とする。具体的には（1）順天堂大学に先導的がん医療開発研究センターを整備し、これを拠点とし、（2）東京理科大学・明治薬科大学・立教大学との共同橋渡し研究の体制整備と実施、（3）島根大学、鳥取大学、岩手医科大学の構築するコンソーシアムと理薬工学系大学を ICT と人材交流で繋ぎ、臨床・研究・教育に一気に風穴をあける平成のがん医療維新を引き起こしたいと考えている。

1-5 順天堂大学 次世代先導的がん研究者養成コース

大学名等	順天堂大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）						
コースの名称	次世代先導的がん研究者養成コース						
養成する専門分野	がん研究医						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成25年4月／4年						
コースの履修対象者	医学研究科医学専攻（博士課程）大学院生						
養成する人材像	地域から世界まで俯瞰する力を持ち、高度な研究能力を有する次世代がん研究者の養成をおこなう。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	がん臨床の専門家と研究者のもとでの研修（演習・実験実習・研究指導等）に加え、連携大学とのテレビ会議等を利用した講義や合同の研究カンファレンスに参加することにより、履修者・国内留学生はトランスレーショナルな研究課題のディスカッション・発表会を行うことができる。 後述の先導的がん医療開発研究センターによる研究コンサルティング等の支援を利用することで、質の高いがんに関する研究の計画立案・計画書作成を行うことが期待できる。また、大学間連携事業（ICT 特別講義、FD 研修会、臨床研究チーム研修等）にも積極的に参加することにより、連携大学・協力施設等との共同研究に繋がるシーズを発見することが可能となり、質の高い学位論文の公表が見込まれる。さらには、教員同士の人材循環も積極的に促す仕組みを構築することが可能となり、がん臨床研究の質の向上、がん医療の質の向上が期待される。						
教育内容の特色等	ICT 環境を利用した講義・カンファレンス、大学間連携事業（FD 研修会等）により、連携大学との情報交換がより効果的に行われる。また、順天堂大学に新たに整備する「先導的がん医療開発研究センター」による研究支援のもと、履修者はがんの研究プロトコル作成等を効率よく行うことができる。具体的には、基礎データベース活用による研究計画書の制度を上げる支援および、研究デザインに関する検討・統計的側面からの支援を受けることが可能である。また、連携大学および協力施設との共同研究計画についても、当該センターが ICT を積極的に活用し、連携のコーディネートを行うことで、共同研究計画の立案・作成がより円滑になる。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	5	5	5	5	20
	受入目標人数	0	5	5	5	5	20
	受入実績	0	12				

1-6 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）

大学名等	順天堂大学大学院医学研究科医学専攻						
コースの名称	次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）						
養成する専門分野	がん治療						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成25年4月／1年間（20講義）						
コースの履修対象者	医師、薬剤師、看護師、その他メディカルスタッフ						
養成する人材像	がん診療の最前線を学ぶとともに、基本的ながん臨床・基礎研究を理解できる次世代がん専門医療人を養成する。また、地域がん医療の現状や医師不足・地域定着化への連携を理解できるメディカルスタッフを育成する。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	がん診療に関わる医療人の質の底上げが可能になる。がん研究や地域におけるがん医療の現状を理解することにより、日本、特に東京都・千葉県・静岡県の離島過疎地区におけるがんの地域医療の均てん化が是正される。						
教育内容の特色等	基礎研究の成果をがん患者の診療の現場に活かすために、臨床に視点においた大学院レベルの基礎教育を実施する。ICT（TV会議やe-learning）も活用し、地域がん医療の現状・国際的ながん医療を学ぶ。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	20	20	20	20	80
	受入目標人数	0	10	10	10	10	40
	受入実績	0	43				

1-7 島根大学 地域がん専門医育成コース

大学名等	島根大学大学院医学系研究科医科学専攻						
コースの名称	地域がん専門医育成コース						
養成する専門分野	がん化学療法						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成25年4月／4年						
コースの履修対象者	大学院医学系研究科医科学専攻博士課程 大学院生						
養成する人材像	地域のがん医療の均てん化を図るために、地域に多い高齢者がん医療に精通し、地域連携を推進し、地域貢献のマインドを有する全人的ながん診療専門医を養成すると共に、リサーチマインドを有し、臨床試験を計画し、山陰地区からエビデンスを発信できる能力を育成する。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	山陰におけるがん診療医師不在、不足の解消と地域への定着化を促進し、県民が安定したがん医療の提供を受けることを可能とする。						
教育内容の特色等	がん診療の基本、治療の適応と禁忌を知り、診療ネットワークの構築について学ぶと共にトランスレーショナルリサーチ、臨床試験についての演習を含む教育内容とする。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	3	3	3	3	12
	受入目標人数	0	3	3	3	3	12
	受入実績	0	1				

1-8 島根大学・鳥取大学 山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）

大学名等	島根大学大学院医学系研究科医科学専攻 (鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻)						
コースの名称	山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ） (鳥取大学との合同事業)						
養成する専門分野	地域がん認定医療						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成24年10月／1年						
コースの履修対象者	地域の医師、薬剤師、看護師、その他メディカルスタッフ						
養成する人材像	山陰地区の日常的がん治療水準向上を目指し、その共通基盤となる臨床腫瘍学の知識・基本技術に習熟し、医療倫理に基づいたがん治療を実践する優れた医師及びメディカルスタッフを養成する。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	山陰地区におけるがん診療医師及びメディカルスタッフ（看護師、薬剤師、臨床検査技師（細胞診検査、超音波検査）など）の地域偏在の解消と地域への定着化を促進し、最新がん医療の学び直しを行うことで、県民が安定したがん医療の提供を受けることを可能とする。						
教育内容の特色等	地域がん診療ネットワークの強化と山陰地区全体のがん医療の均てん化を図る。臨床腫瘍学の基礎知識、画像診断、がん化学療法、外科治療、集学的治療、緩和医療など幅広いトピックスを公開講座形式で随時開講する。一部の講義はeラーニングシステムを利用して受講することも可能とする。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	15	15	15	15	15	75
	受入目標人数	15	15	15	15	15	75
	受入実績	16	26				

1-9 鳥取大学 がん看護専門（認定）看護師養成コース

大学名等	鳥取大学大学院医学系研究科看護学専攻						
コースの名称	がん看護専門（認定）看護師養成コース						
養成する専門分野	① がん看護専門看護師 ② 認定看護師（がん化学療法看護）						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	① 平成27年4月予定／2年 ② 平成24年9月／7ヶ月						
コースの履修対象者	① 臨床看護経験が5年以上およびがん看護経験が3年以上ある者で本学大学院医学系研究科看護学専攻博士前期課程（がん看護専門看護師コース）に入学した者。 ② 臨床看護経験が5年以上および、がん化学療法の臨床経験が3年以上ある者で、本学の定める入学試験に合格した者。						
養成する人材像	① がん看護分野、特に化学療法と緩和ケアの分野において、実践、教育、相談、調整、研究、倫理において卓越した知識・技能を持つ者。 ② がん化学療法看護に関して卓越した技能を有する者。本コース終了後、看護協会で定める認定看護師認定審査に受験・合格可能な者。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	① がん看護専門看護師が絶対的に不足している山陰両県において、幅広くがん看護の質が向上するとともに、がんに関わる認定看護師の育成が期待される。地域医療における外来化学療法および緩和医療において、患者管理や看護実践に対する教育やコンサルテーションが可能となる。 ② がん化学療法認定看護師が絶対的に不足している山陰両県において、がん化学療法に対する知識、技能を習得し、がん患者とのコミュニケーションがスムーズにできる看護師が養成されることによって、外来がん化学療法の治療環境が良くなり、がん化学療法実施による副作用等のリスクが少なくなる。						
教育内容の特色等	① がん全般の知識・技術を習熟し、地域医療に活かせる化学療法看護および緩和ケア看護を重点的に教育する。 ② がん化学療法の知識、技能およびコミュニケーション能力の向上により、患者の異変に対する早期発見・早期対処が可能となる。また、自らの実践力を向上させる能力を育成する。						
① 養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	0	0	2	2	6
	受入目標人数	0	0	0	2	2	6
	受入実績						
② 養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	10	10	10	10	10	50
	受入目標人数	10	10	10	10	10	50
	受入実績	0	9				

1-10 岩手医科大学 緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース

大学名等	岩手医科大学大学院医学研究科医科学専攻・内科系専攻						
コースの名称	緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース						
養成する専門分野	緩和医療						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成25年4月／修士課程：2年 博士課程：4年						
コースの履修対象者	大学院医学研究科医科学専攻応用医科学群 修士課程 大学院医学研究科内科系専攻臨床腫瘍学 博士課程						
養成する人材像	がん治療経過中のQOL維持には、地域連携による緩和ケアの持続的な提供が不可欠である。しかし近年の医師不足に加え、先の震災により、東北における緩和ケアの地域連携は各地で壊滅的な打撃を受けた。本コースは、各地域の緩和ケア連携体制の再構築および均てん化を目指し、訪問看護医療も含めた地域ごとの実情に沿った連携システムの整備、ならびに永続的支援を提供するための、各専門職種からなるスキルミクス指向型の指導的医療人育成を目標とする。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	- 緩和ケアを含めた、がん治療全般に対する知識、技術を獲得することにより、各種認定資格（がん治療認定医、緩和薬物療法認定薬剤師等）の取得を学術的に支援する。 - 各地域において、緩和ケア医療連携が整備されることにより、居住地によらずがん患者が安定して緩和ケアを受けることが可能となる。						
教育内容の特色等	本コースは、「北東北がん医療コンソーシアム」の現場で活動している各医療専門職を主な対象として、緩和ケアについての高度な知識・技術を獲得するとともに、実践的演習を通じて、チーム医療を構成する各職種の専門性を理解し、適切なコミュニケーション、情報の共有方法、およびチームマネジメントの手法を学ぶ。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	3	3	3	3	12
	受入目標人数	0	3	3	3	3	12
	受入実績	0	1				

1-11 岩手医科大学

先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース（インテンシブ）

大学名等	岩手医科大学大学院医学研究科医科学専攻						
コースの名称	先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース（インテンシブ）						
養成する専門分野	・ トランスレーショナルリサーチ(TR)マネジメント ・ レギュラトリーサイエンス						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成25年8月／1年間（3単位）						
コースの履修対象者	先導的がん医療システム開発コンソーシアム（がん医療イノベーション）の参画者を対象とする。 ・ 医師/看護師/薬剤師をはじめとした医療者 ・ 医療系/理工系研究者 ・ 医薬品・医療機器開発企業担当者						
養成する人材像	地域で高品位ながん医療を効率的・経済的に運用するため、医療現場のニーズに応じた医薬品・医療機器の開発を行うため、生命科学あるいは理工系の知識に造詣が深く、TRに精通し、守られるべき患者の権利を尊重する敬虔な医療人の育成する。さらにレギュラトリーサイエンスに精通し、臨床試験を実施できる人材の育成を行う。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	・ 本インテンシブコースの参加者を中心に、3年後を目標として大学院博士課程でのコース設立を目指す。専門家の集うインテンシブコースを設立準備機構として位置づけ、大学院コースに昇華させる。 ・ 人口移動の少ない岩手の地勢メリットを生かし、長期フォローの可能な、世界的にも類を見ないがん研究拠点形成の第一歩と期待される。 ・ 壊滅的な被害を受けた岩手沿岸地域に、先導的ながん医療臨床試験のフロンティアフィールドを整備するために必要な人材が育成され、地域住民の福祉にも直接的に貢献する。						
教育内容の特色等	・ 本コースは、異分野の専門職が集い討議するワークショップ形式のプログラムと、TRならびにレギュラトリーサイエンスに係る講義を併用し、地域で先導的がん医療を実践するために必要な知識を習得する全く新しい試みである。 ・ 教育課程では東京理科大学大学院との連携を行う。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	5	5	5	3	18
	受入目標人数	0	5	5	5	3	18
	受入実績	0	6				

1-12 東京理科大学 がんシステム・創薬研究者養成コース

大学名等	東京理科大学薬学研究科薬科学専攻修士課程						
コースの名称	がんシステム・創薬研究者養成コース						
養成する専門分野	創薬医科学						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成24年4月／2年						
コースの履修対象者	薬学研究科薬科学専攻修士課程 大学院生						
養成する人材像	がん研究は、がん遺伝子を基点としたオミックスデータやがん細胞の分子生物学的な研究手法により、がんの複雑さが明らかにされてきてはいるが、まだ十分に御することができないのが現状である。そのため、(1)がん細胞及び制がん剤作用機序を細胞内シグナル伝達系の集積による「システムの統合」として理解し、さらに、(2)がん分子標的薬開発を標的タンパク質の立体構造情報に基づいて理論的に創薬する「in silico 創薬」を理解して、21世紀のがんゲノム医療を支える研究者を養成することが重要課題となっている。本研究教育コースでは、このような点に焦点を絞り、国際的にも活躍できる優れた創薬研究者を養成する。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	本研究教育コースにより、がん病態やがんシグナルパスウェイからがん分子標的の同定や、制がん剤の作用・副作用機序等を「がん統合システム」として理解し、さらに、コンピュータシミュレーション技術を活用してがん分子標的タンパク質の立体構造を基に理論的な創薬を追及する「in silico 創薬」の重要性を理解した新世代の創薬研究者が輩出されることになる。また、本コースで論理的がん戦略を推進する人材が養成されることによって、現在のがん研究が直面しているがん幹細胞や新規制がん剤開発等に関する様々な難問、限界を飛び越え、我が国のがん研究の水準が飛躍的に向上するとともに、がん医療体制を強化するなどの波及効果が期待される。						
教育内容の特色等	従来の教育コースにはなかった以下の学問領域・演習により成る「がんシステム・創薬学」について、順天堂大学医学部及び製薬企業等と実質的な連携体制を構築して実施する。このような研究教育内容はこれまでになく、極めて独創性に富んでいる。 (1)「がんシステム統合学」 がん細胞内の集積回路の解析とその数理モデル作成によって、個々のがん特異的な遺伝障害による集積回路の構造的、機能的変化からがん発症の仕組みや特性を理解することによって、がんをゲノム・エピゲノムからメタボロームまでを一貫したシステムとして捉える。さらに、制がん剤の作用機序も細胞内シグナル伝達系集積システムとして理解する。 (2)「ゲノム創薬科学」 がん遺伝子を基点とした制がん剤開発のためのがん標的タンパク質分子の立体構造情報に基づく理論的創薬手法を理解する。特にがん遺伝子の変異に対応した最適制がん剤を理論的に創成するためのコンピュータシミュレーション技術、副作用や薬剤耐性を克服するための方策を立案する能力を涵養する。 (3)「臨床データ・サンプルを用いた研究技法演習」 順天堂大学医学部と連携し、臨床データやサンプルを用いて上記「がんシステム」、「in silico 創薬手法」、「制がん剤の処方デザイン」などの妥当性・有効性を検証する。このように臨床と直結した研究技法演習を行う。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	3	5	5	5	5	23
	受入目標人数	3	5	5	5	5	23
	受入実績	10	6				

1-13 明治薬科大学 がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース

大学名等	明治薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程						
コースの名称	がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース						
養成する専門分野	薬剤師						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成24年4月／4年						
コースの履修対象者	薬学研究科薬学専攻博士課程大学院生・科目等履修生						
養成する人材像	がん薬物治療の集学的治療に貢献できる国際的な薬学知識と研究能力をもつ優れたファーマシスト・サイエンティスト(pharmacist scientist)を養成する。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	- がん薬物療法における薬剤師の貢献に高度な学術的内容を付加できる - 薬剤師の治療評価診断能力を養成出来る - 社会人大学院生を積極的に受け入れ、がん医療に関わる薬剤師の教育および研究指導者を養成できる - 欧米大学との教育連携により国際的レベルの臨床薬剤師育成教育ができる - 社会人大学院生に対して各種学会（医療薬学会、臨床薬理学会等）の認定専門薬剤師取得を学術的に支援できる						
教育内容の特色等	- 臨床現場で活躍する薬剤師を社会人大学院生として積極的に受け入れ、教育・学術研究能力を育成する - 学内および順天堂大学の専門医によるフィジカルアセスメント教育プログラム創設 - 教育連携を実施している欧米3大学および順天堂大学医学部から教員を招聘し、日米欧教育シンポジウムと短期集中がん薬物療法教育プログラムを実施する						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	2	3	3	3	3	14
	受入目標人数	2	2	2	2	2	10
	受入実績	5	3				

1-14 立教大学 医学物理研究コース

大学名等	立教大学理学研究科物理学専攻						
コースの名称	医学物理研究コース						
養成する専門分野	医学物理士						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成24年4月／3年						
コースの履修対象者	理学研究科物理学専攻大学院生（後期課程）						
養成する人材像	放射線の本質を理解し、最先端の放射線計測技術の成果を臨床現場のニーズに合わせて活用できる能力を有する医学物理研究者及び医学物理士						
期待される成果や効果 （アウトカム）	- がん治療時のリアルタイムでの照射量測定技術の開発 - 高精度がん治療における品質保証の向上 - 臨床現場と放射線技術開発の密接な連携強化 - 福島原発事故からの復興に関わる保健物理への貢献						
教育内容の特色等	臨床現場に身を置き、現場ニーズにあった放射線制御およびモニター装置の開発等研究開発能力を備えた博士の育成。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	2	2	2	3	3	12
	受入目標人数	1	1	1	2	2	7
	受入実績	1	2				

1-15 がんに特化した講座の設置



順天堂大学大学院 医学研究科 順天堂大学医学部 腫瘍内科学講座

国民の2人に1人が罹患し、3人に1人が死亡する悪性腫瘍の治療成績の向上は、我が国の医療における最大の課題であり、がん医療に専門的に従事する優秀な次代の人材を育てることが国民からも強く求められています。がんは遺伝子の構造異常により生じる病気であるため、一つの遺伝子異常が複数の臓器にまたがることも稀ではなく、次代のがん医療従事者は臓器横断的な俯瞰的な視点を持つ必要があります。腫瘍内科学研究室は、臓器別に理解されている知識を有機的に結びつけ、がん細胞の分子生物学的特性というミクロのレベルから、実際の患者の発癌、転移などの臨床的病態の理解および治療というマクロレベルまで、深い洞察力を持った若い医師の育成のために、がんに特化した講座として新設されました。

臨床腫瘍学（腫瘍内科学）に関する卒前教育（医学教育）・卒後教育（大学院生に対する研究、論文指導）のみならず、臨床試験のプロトコル企画・実施の支援、がん治療センターの運営支援、さらには先導的医療開発センターを拠点とした連携大学間の研究支援をつなぐ一拠点として活動を行って参ります。



順天堂大学大学院 医学研究科 順天堂大学医学部 緩和医療学研究室

緩和医療学研究室は、自然科学と人間科学を統合した緩和ケア学の確立と教育・実践、緩和医療医養成、緩和ケアに関心を有する医療従事者の育成、緩和ケア領域における臨床研究を行うことを目的としています。

本研究室では、附属病院に設置された緩和ケアセンターの運営に携わっています。麻酔科ペインクリニック医師、メンタルクリニック医師、看護師、臨床心理士、薬剤師、理学療法士、医療ソーシャルワーカーで構成される緩和ケアのチーム医療を通じ、病を抱えながら過ごす患者さん（主にがんの患者さん）とそのご家族に対し、希望を大切に充実した豊かな人生を「生きること」を支援します。多職種間のコミュニケーションを重視したチーム医療を通じて、がん専門医療人の養成を行います。また、緩和ケア領域における臨床研究を通じてがん研究者を養成し、患者・家族ケアの質の向上と地域・社会貢献に努めて参ります。



順天堂大学大学院 医学研究科 順天堂大学医学部 放射線治療学講座

本講座は、放射線医学講座が放射線診断学講座と放射線治療学講座に発展的に分離、独立しました。設立の目的は、放射線腫瘍医、医学物理士の有機的統合により高精度放射線治療の基礎および臨床研究を行い、かつ、がん治療教育の充実を図ること、また、連携大学との協力による相互の診療と各地域がん診療の充実を図ることです。

放射線治療専門医（7名）と医学物理士（助教3名）を中心に、大学院生に対する放射線生物学および医学物理学の基礎研究指導を行っています。さらに、基礎研究を基盤に高精度放射線治療の開発研究を進めています。連携大学とは臨床面および医学物理面で協力体制の構築を行っています。

このような研究・教育体制により「基礎研究に造詣の深い放射線腫瘍医、医学物理士、放射線治療専門技師」の育成を図っています。



島根大学大学院 医学系研究科 島根大学医学部医学科 緩和ケア講座

緩和ケア講座は、教育（卒前、卒後、大学院）、臨床、研究を担当しています。卒前教育としての医学生教育は、ロールプレイを取り入れたチュートリアル教育と臨床実習で全人的な痛みを理解することに重点を置いています。当大学病院には、緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・緩和ケア外来で臨床実践が行える、全国でも有数の緩和ケア臨床システムを構築しており、卒後教育として希望する初期研修医には緩和ケア病棟で教育を行い、その後は緩和ケア専門医育成プログラムによる専門教育を予定しています。他の医療関係者に対しては、島根県と連携した研修会による緩和ケア専門医療者（医師、医療スタッフ）の認定と育成を行うこと、大学院教育については緩和ケアを大学院で教育するために痛みの治療と地域連携ケアの研究を、ICTを利用して展開していく方針です。



岩手医科大学大学院 医学系研究科

岩手医科大学 緩和医療学科

本学科は、緩和ケアの卒前・卒後の教育の確立・実践、臨床研究者の育成、地域ごとの実情に沿った連携システムの整備と各専門職種からなるスキルミクス指向型の指導的医療人の育成を目的としています。



岩手医科大学大学院 医学系研究科

岩手医科大学 放射線腫瘍学科

本学科は、放射線腫瘍学の卒前・卒後の教育の確立・実践、地域ごとの実情に沿った連携システムの整備、放射線治療に生物学的最適化戦略を開発・研究するがん放射線治療医の育成を目的としています。



明治薬科大学

がん先端治療学（アルファ粒子線・免疫治療学）

がんに対する中性子捕捉療法は難治性がんの治療として注目されています。本講座では、中性子捕捉化合物として新規のホウ素およびガドリニウム化合物を本学の化学研究者と共同で開発・改良すること、捕捉化合物をがん組織に効率的に送達させる drug delivery system の開発すること、さらにはこれに免疫療法を加味した新規治療法を開発することを目的としています。今後、本学の創薬研究者との共同研究で新規がん治療法が開発されることが期待されます。

第 2 編

平成 25 年度の取り組み

1. 外部評価委員会

1-1 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン外部評価委員会

■概要

(1) 名称

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン外部評価委員会

(2) 日時、場所

開催日時：平成 25 年 10 月 25 日（金）13:00～16:00

開催場所：順天堂大学 本郷キャンパス 10 号館 1 階 105 カンファレンスルーム

(3) 評価委員

1. 独立行政法人 国立がん研究センター 理事長 堀田 知光 *評価委員長
2. 聖路加国際メディカルセンター 特別顧問／医療イノベーション部長 入村 達郎
3. 特定非営利活動法人 HOPE☆プロジェクト 理事長 櫻井 なおみ

(4) 事業概要説明発表担当者

- ① 教育分野（発表担当：鳥取大学・明治薬科大学）
鳥取大学 病態検査学 教授 廣岡 保明
明治薬科大学 薬物治療学 教授 越前 宏俊
- ② 地域分野（発表担当：島根大学・岩手医科大学）
島根大学 医学部緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦
岩手医科大学 内科学講座（血液・腫瘍内科分野） 准教授 伊藤 薫樹
- ③ 研究分野（発表担当：東京理科大学・立教大学）
東京理科大学 薬学部薬学科 教授 花輪 剛久
立教大学 理学部物理学科 教授 栗田 和好
- ④ ICT（発表担当：順天堂大学）
順天堂大学 呼吸器内科学 教授 高橋 和久

(5) 主催

順天堂大学

■資料

・プログラム

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン外部評価委員会		
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～では、これまでの事業活動を振り返り、また今後の活動の重要な指針とするため、外部評価委員会を受審することといたしました。評価の受審にあたっては、まず自己点検表を作成し、事前配布資料として評価委員に呈示いたします。次に、主幹大学の順天堂大学にて審査会を開催し、事業内容・活動内容を説明して評価をいただく予定としています。		
開催概要		
日時：平成25年10月25日(金) 13:00～16:00 場所：順天堂大学 本郷キャンパス 10号館1階105カンファレンスルーム 評価委員：委員長>>>堀田 知光（独立行政法人 国立がん研究センター 理事長） 委員>>>入村 達郎（聖路加国際メディカルセンター 特別顧問/医療イノベーション部長） 委員>>>櫻井 なおみ（特定非営利活動法人 HOPE★プロジェクト 理事長）		
プログラム		
司会>>>統括コーディネーター 高橋 和久 （順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学 教授）		
1. 開会挨拶	13:00～13:10	10分
統括責任者>>>順天堂大学 学長 木南 英紀		
2. 事業概要説明	13:10～14:40	90分
全体事業概要説明		15分
事業推進責任者>>>順天堂大学大学院医学研究科長 新井 一		
① 教育分野		20分
鳥取大学医学部病態検査学講座 教授 廣岡 保明		
明治薬科大学 副学長 / 薬物治療学 教授 越前 宏俊		
② 地域分野		20分
鳥根大学医学部緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦		
岩手医科大学内科学講座(血液・腫瘍内科分野) 准教授 伊藤 薫樹		
③ 研究分野		20分
東京理科大学薬学部 教授 花輪 剛久		
立教大学理学部物理学 教授 栗田 和好		
④ ICTと大学関連事業		15分
順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学 教授 高橋 和久		
3. 外部評価委員からの質問	14:40～15:15	35分
～ 質疑応答 ～		
休憩	15:15～15:30	15分
4. 外部評価委員による講評	15:30～15:50	20分
5. 閉会挨拶	15:50～16:00	10分
順天堂大学大学院医学研究科分子病理病態学 教授 樋野 興夫		

・出席者リスト

平成24年度文部科学省 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業
ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン 外部評価委員会 参加者一覧(H25.10.25)

1. 外部評価委員

委員長	堀田 知光	独立行政法人 国立がん研究センター	理事長
委員	入村 達郎	聖路加国際メディカルセンター	特別顧問/医療イノベーション部長
委員	桜井 なおみ	特定非営利活動法人 HOPE☆プロジェクト	理事長

2. 大学関係者

○順天堂大学

木南 英紀	学長/事業推進代表者	教授
新井 一	医学研究科長/事業推進責任者	教授
高橋 和久	呼吸器内科学/運営委員会委員長/ 統括・コーディネータ	教授
樋野 興夫	分子病理病態学	教授
小松 則夫	血液内科学	教授
横溝 岳彦	生化学細胞機能制御学	教授
奥澤 淳司	臨床研究センター	先任准教授
大津 洋	先導的がん医療開発研究センター	助教
今井 美沙	先導的がん医療開発研究センター	助教
伊藤 嘉章	学術・研究支援課	事務長
磯部 豊	学術・研究支援課	課長
高崎 寛	学術・研究支援課	係長
谷川 泰司	学術・研究支援課	係員
村里 麻耶	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局	係員
森川 直樹	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局	係員
中村 玲子	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局	係員
奥原 順子	財務課	係員
高橋 龍	財務課	係員
加藤 久美子	財務課	係員
木下 博予	財務課	係員
伊藤 俊之	情報センター	課長
吉田 剛	情報センター	主任

○岩手医科大学

伊藤 薫樹	内科学講座(血液・腫瘍内科分野)	准教授
渡辺 義典	医学部教務課	課長
小野寺 敬信	医学部教務課	係長
川守 裕陽	矢巾キャンパス教務課	係員

○島根大学

中谷 俊彦	緩和ケア講座	教授
大島 勲	総務課 企画調査係	係長
青木 修二	学務課 大学院室	係長
竹内 久美子	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	係員

○鳥取大学

廣岡 保明	病態検査学	教授
大山 賢治	医学部付属病院がんセンター	助教
井中 康夫	医学部 学務・研究課	副課長

○東京理科大学

花輪 剛久	薬学部 薬学科	教授
東 達也	薬学部 薬学科	教授
高橋 悦子	教務部教務課(野田)	主任

○明治薬科大学

越前 宏俊	薬物治療学	教授
庄司 優	薬効学	教授

○立教大学

栗田 和好	理学部物理学科	教授
洞口 拓磨	理学研究科物理学専攻	特任准教授

・当日写真



2. シンポジウム

2-1 がんプロ地域シンポジウム

■概要

(1) 名称

がんプロ地域シンポジウム「がん医療連携：地域の取り組みと首都圏大学からの提案」

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成 25 年 11 月 8 日（金）16:00～18:00

開催場所：岩手医科大学創立 60 周年記念館 9 階第 2 講義室

参加対象：医師・看護師・薬剤師・診療放射線技師・物理士等

(3) 基調講演

1. 「岩手県における放射線治療の現状と診療放射線技師による地域教育プログラムの継続的取組」
岩手県立中部病院 診療放射線技師（医学物理士） 菅原 潤
2. 「がん医療の地域貢献とチーム医療への取り組み」
島根大学 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威
3. 「理学部としての地域貢献」
立教大学 理学部物理学科 教授 平山 孝人
4. 「大学病院がその機能分化から地域医療にできること」
順天堂大学 乳腺内分泌外科学 教授 齋藤 光江

(4) 参加者の概要

参加者数：82 名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

平成25年度 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
「がんプロ地域シンポジウム」

「がん医療連携：地域の取組みと首都圏大学からの提案」

日時 平成25年11月8日（金）16時00分～

場所 岩手医科大学創立60周年記念館9階 第2講義室

対象 医師・看護師・薬剤師・診療放射線技師・物理士等

内容

1. 開 会（岩手医科大学教授 杉山 徹 氏）
2. 挨拶（岩手医科大学理事長・学長 小川 彰 氏）
3. 基調講演
 - 1) 「岩手県における放射線治療の現状と、診療放射線技師による地域教育プログラムの継続的取組」
講師：岩手県立中部病院 診療放射線技師（医学物理士） 菅原 潤 氏
 - 2) 「がん医療の地域貢献とチーム医療への取り組み」
講師：島根大学 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威 氏
 - 3) 「理学部としての地域貢献」
講師：立教大学 理学部物理学教授 教授 平山 孝人 氏
 - 4) 「大学病院がその機能分化から地域医療にできること」
講師：順天堂大学 乳腺・内分泌外科学 教授 齊藤 光江 氏
4. 総合討論
5. 閉 会（岩手医科大学医学部長 小林 誠一郎 氏）

申込

別紙「がんプロ地域シンポジウム」参加申込要領のとおり ※当日のとび入りのご参加も大歓迎です。

～お知らせ～

当日は、TV会議システムを利用して、がんプロ連携7大学へライブ配信されます。
ご興味のある方は是非ご来場下さい。（聴講自由）



主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）

《お問い合わせ先》 医学部教務課、矢巾キャンパス教務課：がんプロ担当（内線：3223・5513）

2-2 がんプロ研究シンポジウム

■概要

(1) 名称

がんプロ研究シンポジウム「医学・産業・物理学を結ぶ放射線がん治療研究者育成を目指して」

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成25年11月9日（土）13:00～16:30

開催場所：立教大学12号館地下1階第3・4会議室

参加対象：医学物理研究に関心のある教員・研究者・医療関係者及び学生

(3) 講演

1. 「医師から見た物理系医学物理士への期待」 順天堂大学医学部 教授 笹井 啓資
2. 「三菱重工のX線治療装置Vero4DRT：開発から臨床展開の紹介」
三菱重工株式会社 山川 隆
3. 「物理系人材が考える医学物理士像」 立教大学理学研究科 特任准教授 洞口 拓磨

(4) 参加者の概要

参加者数：30名

(5) 主催

立教大学

■資料



立教大学

平成24年度
文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

立教大学 がんプロ研究 シンポジウム

テーマ

医学・産業・物理学を結ぶ
放射線がん治療研究者育成を目指して

対象者：医学物理研究に関心のある教員・研究者・医療関係者及び学生

開催日：平成25年11月9日（土）
 時間：13:00～16:30（12:30 受付開始）
 定員：50名
 場所：立教大学12号館地下1階第3・4会議室
 主催：立教大学理学研究科
 共催：文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

●問合せ先
立教大学理学部
 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
 TEL: 03-3985-3383 FAX: 03-3985-4159
 MAIL: science@rikkyo.ac.jp
 URL: <http://www.rikkyo.ac.jp/science/ja/igakubuturishi/>
最寄り駅：池袋駅西口徒歩約7分

●プログラム 総司会：立教大学理学部 教授 栗田和好

13:00～13:05	開会の辞	立教大学理学研究科委員長 家城和夫
13:05～13:10	実行委員長挨拶	立教大学理学部 教授 小泉哲夫
13:10～13:50	「医師から見た物理系医学物理士への期待」	順天堂大学医学部 教授 笹井啓資
13:50～14:00	休憩(10分)	
14:00～14:40	「三菱重工のX線治療装置Vero4DRT: 開発から臨床展開の紹介」	三菱重工株式会社 山川隆
14:40～15:20	「物理系人材が考える医学物理士像」	立教大学理学研究科 特任准教授 洞口拓磨
15:20～15:30	休憩(10分)	
15:30～16:30	総合討論	総司会
16:30	閉会の辞	立教大学理学研究科委員長 家城和夫



2-3 がんプロ市民公開シンポジウム

■概要

(1) 名称

がんプロ市民公開シンポジウム

(2) 日時、場所

開催日時：平成25年11月29日（金）13：00～15：30

開催場所：東京理科大学 神楽坂キャンパス 森戸記念館地下1階 第1フォーラム

(3) 講演

・基調講演

「不治の病から切らずに治す時代への展望と問題点」

総合南東北病院 口腔がん治療センター長 瀬戸 皖一

「団塊の世代の高齢化を迎えこれからのがん医療の課題と解決策」

東京理科大学 生命医科学研究所 教授 江角 浩安

・講演 「研究者・医療人の育成」：医学・理学・薬学の視点から「研究者・医療人の2つの使命」

順天堂大学 大学院医学研究科 分子病理病態学 教授 樋野 興夫

「医学と物理学を結ぶ研究者育成を目指して」

立教大学 理学研究科物理学専攻 特任准教授 洞口 拓磨

「基礎薬学を処方提案に活かす試み」

東京理科大学 薬学部薬学科 教授 小茂田 昌代

(4) 参加者の概要

参加者数：34名

(5) 主催

東京理科大学

■資料

【文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業】

がんプロ市民公開シンポジウム(東京理科大学主催)**日程：2013年11月29日(金) 13:00～15:30****場所：東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館地下1階第1フォーラム****定員：100名(参加費：無料)****プログラム：****1. 開会の辞**

東京理科大学 学長

藤嶋 昭

2. 基調講演

13:05～

総合南東北病院 口腔がん治療センター長

瀬戸 暁一

「不治の病から切らずに治す時代への展望と問題点」

13:35～

東京理科大学生命医科学研究所 臨床研究部門 教授 江角 浩安

「団塊の世代の高齢化を迎えこれからのがん医療の課題と解決策」

<休憩(14:05～14:20)>

3. 講演 “研究者・医療人の育成”：各大学の取り組み

14:20～ 順天堂大学

医学部 病理・腫瘍学 教授

樋野 興夫

「研究者・医療人の2つの使命」

14:40～ 立教大学

理学研究科物理学専攻 特任准教授

洞口 拓磨

「医学と物理学を結ぶ研究者育成を目指して」

15:00～ 東京理科大学

薬学部薬学科 教授

小茂田 昌代

「基礎薬学を処方提案に活かす試み」

4. 閉会の辞

順天堂大学 呼吸器内科学講座 教授

高橋 和久

(15:30頃 終了予定)

2-4 がんプロ国際シンポジウム

■概要

(1) 名称

がんプロ国際シンポジウム

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年1月8日（水）10：50～12：10、1月11日（土）14：00～16：00

開催場所：1月8日：明治薬科大学清瀬キャンパス フロネシス棟 8112教室

1月11日：明治薬科大学清瀬キャンパス 104号教室

参加対象：学部学生・大学院生・教員

(3) 特別講演者

Michael Gabay PharmD, JD, BCPS

(4) 講演

1月8日（水）『Role of the Drug Information Pharmacist at an Academic Medical Center』

1月11日（土）『Intra-CSF administration of chemotherapy medications』

(5) 参加者の概要

参加者数：371名

(6) 主催

明治薬科大学

■資料



がんプロフェッショナル養成基盤事業 講演会のお知らせ

Michael Gabay PharmD, JD, BCPS
先生はイリノイ大学薬学部でDrug Information Groupの責任者として活躍されています。今回、学部学生、大学院生、教員を対象として特にがん薬物治療に関連のある内容について2日間にわたり講演を企画しました。皆さん奮って参加してください。



第1回

Role of the Drug Information Pharmacist at an Academic Medical Center

日時 平成26年1月8日(水曜日)午前10:50-12:10

場所 明治薬科大学清瀬キャンパス フロネシス棟 8112教室

第2回

Intra-CSF administration of chemotherapy medications

日時 平成26年1月11日(土曜日)午後14:00-16:00

場所 明治薬科大学清瀬キャンパス104号教室

主催 大学院がんプロフェッショナル養成基盤事業
海外医療研修コース

連絡先 薬物治療学 越前宏俊 教務課 大学院係
事前申込みは不要です。 電話 042(495)8613

3. ワークショップ

3-1 連携 7 大学 FD 研修会 in 島根

■概要

(1) 名称

がんプロ FD ワークショップ「地域中核病院でがん医療に携わるスタッフを育成するプログラムの作成」

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成 25 年 9 月 14 日（土）～ 9 月 15 日（日）

開催場所：国民宿舎くにびき荘

参加対象：本プログラム及び講義に関わっている教員・事務関係者
医師・看護師・薬剤師・MSW・放射線物理士

(3) 講演

・基調講演

「がん薬物療法専門医への道のり」 町立奥出雲病院 副院長 鈴木 賢二

・講演

「済生会江津病院の現状と課題」 済生会江津総合病院 副看護師長 大濱 理砂

「がん診療に携わる地域中核病院の問題を薬剤師が思う」
済生会江津総合病院 薬剤部 薬剤師 高橋 和也

(4) 参加者の概要

参加者数：49 名

(5) 主催

島根大学・鳥取大学

■資料

・案内

平成25年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

がんプロFDワークショップ



地域中核病院でがん医療に携わるスタッフを
育成するプログラムの作成

期 日 平成25年9月14日(土)・15日(日)

場 所 国民宿舎 くにびき荘

内 容 基調講演 グループワーク、
がんプロ連携大学運営連絡会 9/14(土)15:00～開催予定

対象者 本プログラム及び講義に関わっている教員・事務関係者

日程	内容
9月14日(土)	地域で働く医療関係者による基調講演、講演
	グループワーク(4グループ) がんプロ連携大学運営連絡会
9月15日(日)	グループごとに発表 ～10:30終了予定

問合せ先
 島根大学医学部 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
 「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」事務局
 〒693-8501 出雲市塩冶町89-1 電話:0853-20-2576 FAX:0853-20-2580

主催
 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」
 順天堂大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学

・タイムテーブル

平成25年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
がんプロFDワークショップ

テーマ

「地域中核病院でがん医療に携わるスタッフを育成するプログラムの作成」

期 日

平成25年9月14日（土）10:15～ 15日（土）10:30

日 程

1日目

時間	内容	場所
9:50～10:15	受付	本館1F ロビー
10:15～10:30	【開会挨拶】 ◆今回のFDの目的テーマについて 島根大学医学部 教授 磯部 威先生	別館2F 大広間
10:30～11:30	【基調講演】 ◆「がん薬物療法専門医取得までの道のり」 町立奥出雲病院 副院長 鈴木 賢二先生 【講演】	別館2F 大広間
11:30～11:45	◆「済生会江津病院の現状と課題」 済生会江津総合病院 副看護師長 大濱 理砂氏	
11:45～12:00	◆「がん診療に携わる地域中核病院の問題を薬剤師が思う」 済生会江津総合病院 薬剤部 薬剤師 高橋 和也氏	
12:00～12:15	ワークショップの説明 島根大学医学部 緩和ケア講座 教授 中谷俊彦先生	別館2F 大広間
12:15～12:45	昼食	別館1階 レストラン
12:45～17:00	【ワークショップ】 *各グループで休憩時間を設けてください	別館2F 大広間
15:00～16:00	【連携大学運営連絡会】（該当者のみ） *運営連絡会に参加されない方は、お話を続けてください *運営連絡会参加者の皆様は終了後再び、ワークショップへ	別館1階 第2会議室
17:00～18:00	各自チェックイン、休憩	本館1F ロビー
18:00～19:30	夕食	別館2F 大広間
19:30～	解散・自由時間	

21:00～23:00	*共同浴場：19:00～23:00 ◆情報交換会	別館2階212号室
-------------	-----------------------------	-----------

2日目

時間	内容	場所
7:00～8:15	朝食・各自チェックアウト	別館1階 レストラン、 本館1階ロビー
8:15～9:00	グループで意見をまとめる	別館2階 大広間
9:00～10:00	【グループ発表・総合討論】 各グループ(15分×4グループ 60分) ※発表の順番は〇〇で決める	別館2階 大広間
10:00～10:30	【総合討論・総括】 司会：島根大学医学部 教授 磯部 威先生	別館2階 大広間
10:30	解散 10:40 バス出発	別館2階 大広間

・参加者等

平成25年度がんプロFD 参加者一覧

大学名	所属科	役職	氏名
立教大学	理学部	教授	栗田 和好
立教大学		特任准教授	洞口 拓磨
順天堂大学	呼吸器内科学	教授	高橋 和久
順天堂大学	乳腺内分泌外科学	教授	齊藤 光江
順天堂大学	がん生涯教育センター	助教	今井 美沙
順天堂大学	下部消化管外科	がんプロ博士研究員	藤井 智明
順天堂大学	分子病理病態学	がんプロ博士研究員	グランバル ウブリハスム
順天堂大学	呼吸器内科学	がんプロ博士研究員	嶋田 奈緒子
順天堂大学	呼吸器内科学	助教	宿谷 威仁
順天堂大学	学術・研究支援課	課長	碓部 豊
順天堂大学	学術・研究支援課	係長	高崎 覚
順天堂大学	下部消化管外科	大学院生	伊藤 慎吾
東京理科大学	薬学部薬学科	教授	東 達也
東京理科大学	薬学部薬学科	教授	花輪 剛久
東京理科大学	薬学部薬学科	助教	河野 弥生
明治薬科大学	薬物治療学	教授	越前 宏俊
明治薬科大学	薬効学	教授	庄司 優
明治薬科大学	薬効学教室	がんプロ博士研究員	赤津 ちづる
岩手医科大学	放射線医学講座	教授	有賀 久哲
岩手医科大学	医歯薬総合研究所腫瘍生物学研究部門	教授	前沢 千早
岩手医科大学	薬剤部	薬剤師	佐々木 拓弥
岩手医科大学	薬剤部	薬剤師	二瓶 哲
岩手医科大学	医学部教務課	係長	小野寺 敬信
岩手医科大学	医学部 教務課	課長	渡辺 義典
岩手医科大学	矢巾キャンパス教務課	臨時事務員	川守 裕陽
鳥取大学	医学部	教授	廣岡 保明
鳥取大学	医学部附属病院	助教	大山 賢治
鳥取大学	医学部附属病院	助教	牧野 晴彦
鳥取大学	医学部学務・研究課	副課長	井中 康夫
鳥取大学	医学部学務・研究課		眞砂 康治
鳥取大学	医学部学務・研究課		小谷 沙穂
江津総合病院	看護部外来	副看護師長	大濱 理砂
江津総合病院	看護部外来	看護師	森脇 美奈子
江津総合病院	薬剤部	薬剤師	高橋 和也
町立奥出雲病院	外科	副院長	鈴木 賢二
島根大学	医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学	教授	碓部 威
島根大学	医学部 放射線治療学	教授	猪俣 泰典
島根大学	医学部 緩和ケア講座	教授	中谷 俊彦
島根大学	医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科	講師	須谷 顕尚
島根大学	医学部附属病院 歯科口腔外科	講師	成相 義樹
島根大学	医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学	助教	津端 由佳里
島根大学	医学部附属病院 歯科口腔外科	歯科医員	恒松 晃司
島根大学	医学部 学務課	課長	山根 茂雄
島根大学	医学部 会計課	課長補佐	棟石 均
島根大学	医学部 総務課	係長	大島 勲
島根大学	医学部 学務課	係長	青木 修二
島根大学	医学部 総務課	係員	岡田 高文
島根大学	医学部 がんプロ	事務補佐員	岸田 亜依
島根大学	医学部 がんプロ	事務補佐員	竹内 久美子

班分け表

タスクフォース

大学名	所属科	役職	氏名	性別	グループ
順天堂大学	呼吸器内科学	教授	高橋 和久	男性	A
順天堂大学	乳腺内分泌外科学	教授	齊藤 光江	女性	B
島根大学	医学部 緩和ケア講座	教授	中谷 俊彦	男性	C
島根大学	医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学	教授	磯部 威	男性	D

ワーキンググループ

大学名	所属科	役職	氏名	性別	グループ
順天堂大学	下部消化管外科	がんプロ博士研究員	藤井 智明	男性	A (8名)
順天堂大学	下部消化管外科	大学院生	伊藤 慎吾	男性	
東京理科大学	薬学部薬学科	教授	東 達也	男性	
明治薬科大学	薬効学教室	がんプロ博士研究員	赤津 ちづる	女性	
鳥取大学	医学部附属病院	助教	大山 賢治	男性	
島根大学	歯科口腔外科	講師	成相 義樹	男性	
江津総合病院	看護部外来	看護師	大濱 理砂	女性	
立教大学		特任准教授	洞口 拓磨	男性	
順天堂大学	分子病理病態学	がんプロ博士研究員	グランハル ウブリハス	女性	B (6名)
東京理科大学	薬学部薬学科	教授	花輪 剛久	男性	
岩手医科大学	薬剤部	薬剤師	佐々木 拓弥	男性	
鳥取大学	医学部附属病院	助教	牧野 晴彦	男性	
奥出雲病院	外科	副院長	鈴木 賢二	男性	
島根大学	医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科	講師	須谷 顕尚	男性	
立教大学	理学部	教授	栗田 和好	男性	C (8名)
順天堂大学	呼吸器内科学	助教	宿谷 威仁	男性	
明治薬科大学	薬物治療学	教授	越前 宏俊	男性	
岩手医科大学	放射線医学講座	教授	有賀 久哲	男性	
岩手医科大学	薬剤部	薬剤師	二瓶 哲	男性	
島根大学	歯科口腔外科	歯科医員	恒松 晃司	男性	
江津総合病院	看護部外来	看護師	森脇 美奈子	女性	
島根大学	医学部 放射線治療学	教授	猪俣 泰典	男性	
順天堂大学	がん生涯教育センター	助教	今井 美沙	女性	D (8名)
東京理科大学	薬学部薬学科	助教	河野 弥生	女性	
明治薬科大学	薬効学	教授	庄司 優	男性	
岩手医科大学	医歯薬総合研究所腫瘍生物学研究部門	教授	前沢 千早	男性	
鳥取大学	医学部	教授	廣岡 保明	男性	
島根大学	医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学	助教	津端 由佳里	女性	
江津総合病院	薬剤部	薬剤師	高橋 和也	男性	
順天堂大学	呼吸器内科学	がんプロ博士研究員	嶋田 奈緒子	女性	

3-2 臨床研究研修会

■概要

(1) 名称

第2回臨床研究研修会『理想のがん医療・がん研究ができる未来を創出しよう --多職種で学び、多施設連携を実現しよう!--』

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年2月22日（土）～2月23日（日）

開催場所：順天堂大学センチュリータワー北6階、南8階

参加対象：がんプロ連携7大学のがん研究・がん医療の専門家を目指す有志

(3) 参加者の概要

参加者数：60名

(4) 主催

順天堂大学

(5) 参加大学

順天堂大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学・島根大学・岩手医科大学

■資料

・実施要領

平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

「第2回臨床研究研修会」実施要領

1. 実施期日

平成26年2月22日(土)12:00～23日(日)12:00

2. 参加校

順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学

3. 研修・宿泊場所

研修場所：順天堂大学 センチュリータワー（北6Fにて受付）

宿泊場所：お茶の水ホテル ジュラク

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-9 Tel:03-3251-7222

4. テーマ

「理想のがん医療・がん研究ができる未来を創出しよう！」

—多職種で学び、多施設連携を実現しよう！—

5. 実施スケジュール

期 日	時 間	内 容
第1日目 (2月22日)	12:00～12:10	開会の挨拶(高橋和久)・事務連絡
	12:10～13:00	昼食
	12:10～12:50	ランチョンセミナー[40分] プロトコール作成について(山本)
	12:50～13:00	グループワーク説明[10分](齊藤)
	13:00～13:30	チームビルディング(大崎)
	13:30～18:00	チーム研究 実習
	13:30～15:30	グループワーク①
	15:30～16:00	研究倫理[30分](大津)
	16:30～18:00	グループワーク②
第2日目 (2月23日)	18:00～19:00	夕食
	18:00～18:30	ディナーセッション[30分] 院生運営委員から昨年のグループワーク発表(津端・魚森)
	19:00～21:30	グループワーク③
第2日目 (2月23日)	8:30～10:30	発表会
	10:30～11:30	全体討論・感想
	11:30～12:00	修了式・写真撮影等、閉会の辞(樋野興夫)

・参加者

	大学	No	氏名	フリガナ	所属	職名・学年	グループ
研修生	順天堂	1	吉永木 昇尔 島布力哈爾木	グランバル ウプリハスム	腫瘍病理講座	がんプロ研究支援者 医療スタッフ(博士研究員)	C
		2	藤井 智明	フジイ トモアキ	下部消化管外科学	がんプロ研究支援者 医療スタッフ(博士研究員)	A
		3	阿提克 楠 克力木	アチケム ケリム	腎臓内科学	協力研究員	C
		4	水谷 奈津子	ミズタニ ナツコ	分子病理病態学	博士4年	A
		5	橋本 夕美	ハシモト ユミ	公衆衛生学	博士2年	D
		6	土田 純子	ツチダ ジュンコ	鎌倉病院臨床研修センター		B
		7	唐沢 身和	カラサワ ミワ	順天堂医院		B
		8	谷口 明徳	ヤグチ アキノリ	小児思春期発達・病態学	博士1年	D
		9	細谷 理樹	ホソヤ マサキ	下部消化管外科学	医療スタッフ(研究助手)	A
		10	萩津 佳奈江	オギツ カナエ	順天堂医院		C
		11	鶴田 正博	ウダ マサヒロ		修士1年	C
		12	佐々木 ひとみ	ササキ ヒトミ	順天堂医院		B
		13	石川 弘子	イシカワ ヒロコ	順天堂医院薬剤部		D
		14	宮津 珠恵	ミヤツ タマエ	医療看護学部	助教	A
		15	濱谷 香織	ハマヤ カオリ	母子医療支援センター		D
		16	池永 素子	イケナガ モトコ	乳腺・内分泌外科学研究室	修士1年	B
		18	食本 芽以	クラモト メイ	順天堂医院看護部		C
		19	魚森 俊希	ウオモリ トシタカ	乳腺・内分泌外科学	博士3年	B
	東京理科大学	1	堀越 ひかる	ホリコシ ヒカル	薬学部薬学科	4年	B
		2	渡辺 ひかる	ワタナベ ヒカル	薬学部薬学科	4年	A
		3	古増 幸嗣	ヨシマス ユキツグ	薬学部薬学科	4年	D
		4	深田 祐羽紀	フカタ ユウキ	薬学部薬学科	5年	C
		5	渋谷 明	シブヤ アキラ	理工学部情報科学科	4年	A
		6	三枝 祐輔	サイグサ ユウスケ	理工学研究科情報科学専攻(院生)	大学院2年	B
		7	相澤 愛奈	アイザワ マナ	理工学部情報科学科	4年	D
		8	前田 良太郎	マエダ リョウタロウ	理工学部情報科学科	4年	A
		9	松田 裕也	マツダ ユウヤ	理工学部情報科学科	4年	C
		10	茂木 雄志	モギ レイジ	理工学部情報科学科	4年	C
		11	杉山 奈津子	スギヤマ ナツコ	大洗海岸病院		B
	明治薬科	1	緑生 京子	クリウ キョウコ	大学院臨床薬学専攻博士課程(後期)	博士3年	D
	鳥取	1	大熊 里依	オオクマ リイ	歯科口腔外科学講座		C
		2	谷野 良輔	タニノ リョウスケ	大学院生		C
	岩手医科	1	二瓶 智	ニヘイ サトル	薬剤部		C
		2	馬渡 恵	マワタリ ケイ	産婦人科学講座		D
	立教	1	中村 智志	ナカムラ サトシ	理学研究科物理学専攻	後期課程1年	B
	鳥取	1	長谷川 一将	ハセガワ カズマサ	鳥取大学医学部附属病院		A
		2	桑 英司	ハタ エイジ	鳥取大学医学部附属病院		B
		3	柳瀬 広和	ヤナセ ヒロカズ	鳥取大学医学部附属病院		D
		4	立花 麻美	タチバナ マミ	鳥取大学医学部附属病院		A
教員・講師	講師	1	山本 龍司	ヤマモト コウジ	大阪大学医学部附属病院 未病医療開発部 データセンター		(A, B)
		2	大崎 桂子	オオサキ ケイコ	ビジネスコンサルティング		(F)
	順天堂	1	高橋 和久	タカハシ カズヒサ	呼吸器内科学	教授	—
		2	樋野 興夫	ヒノ オキオ	分子病理病態学	教授	—
		3	青藤 光江	サイトウ ミツエ	乳腺・内分泌外科学	教授	(F)
		4	加藤 俊介	カトウ シュンスケ	臨床腫瘍学	教授	(F)
		5	奥出 有香子	オクデ ユカコ	順天堂医院看護部	看護部長	(A, B)
		6	中野 真理子	ナカノ マリコ	順天堂医院看護部	部長心得	(C, D)
		7	茂柳 重	モグシ カオル	ゲノム・再生医療センター	バイオインフォマティクス研究者	(F)
		8	大津 洋	オオツ ヒロシ	先進的がん医療開発研究センター	助教	(C, D)
		9	今井 美沙	イマイ ミサ	先進的がん医療開発研究センター	助教	(F)
	東京理科大学	1	深井 文雄	フカイ フミオ	薬学部生命創薬科学科	教授	(C)
		2	小茂田 昌代	コモダ マサヨ	薬学部薬学科	教授	(B)
	明治薬科	1	越前 宏俊	エチゼン ヒロトシ	薬物治療学教室	教授	(A)
		2	庄司 優	ショウジ マサル	薬効学教室	教授	(D)
	立教	1	栗田 和好	クリタ カズヨシ	理学部物理学	教授	(F)
	鳥取	1	中谷 俊彦	ナカタニ トシヒコ	緩和ケア講座	教授	(F)
		2	津端 由佳里	ツバタ ユカリ	呼吸器・臨床腫瘍学	助教	(C)
		3	横宮 美樹	トングウ ミキ	総合科学研究支援	助教	(A)
	岩手医科	1	竹内 聡	タケウチ サトシ	産婦人科学講座	准教授	(D)
		2	柏葉 匡寛	カシワバ マサヒロ	外科学講座	講師	(B)

4. 各大学企画講座

4-1 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース(インテンシブコース) 【医師・研究者向け統計講義】

■概要

(1) 名称

がんプロインテンシブコース【医師・研究者向け統計講義】

(2) 第1回講義

講義名称：臨床試験／疫学研究のデザイン 1

開催日時：平成 25 年 7 月 2 日（火）18:15～19:45

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11 号館）南 4 階 404 教室

講師：順天堂大学 臨床研究センター 松岡 淨 先生

(3) 第2回講義

講義名称：臨床試験／疫学研究のデザイン 2

開催日時：平成 25 年 7 月 9 日（火）18:15～19:45

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11 号館）南 4 階 404 教室

講師：順天堂大学 臨床研究センター 松岡 淨 先生

(4) 第3回講義

講義名称：Meta Analysis

開催日時：平成 25 年 10 月 8 日（火）18:15～19:45

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11 号館）南 4 階 404 教室

講師：順天堂大学 臨床研究センター 松岡 淨 先生

(5) 第4回講義

講義名称：がん臨床試験に関する最近の統計的話題 1

開催日時：平成 25 年 11 月 1 日（金）18:30～20:00

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11 号館）北 3 階 306 教室

講師：神戸大学 医学部附属病院 臨床研究推進センター 特命准教授 吉村 健一 先生

(6) 第5回講義

講義名称：がん臨床試験に関する最近の統計的話題 2（中間解析）

開催日時：平成 25 年 11 月 8 日（金）18:30～20:00

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11 号館）南 4 階 404 教室

講師：順天堂大学 大学院医学研究科 がん生涯教育センター 助教 大津 洋 先生

(7) 第6回講義

講義名称：がん臨床試験に関する最近の統計的話題 3（Bayes analysis）

開催日時：平成 25 年 11 月 15 日（金）18:30～20:00

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11 号館）南 4 階 404 教室

講師：順天堂大学 大学院医学研究科 がん生涯教育センター 助教 大津 洋 先生

4-2 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブコース） 【医学物理・放射線関係講義】

■概要

(1) 名称

がんプロインテンシブコース【医学物理・放射線関係講義】

(2) 第1回講義

講義名称：放射線計測学

開催日時：平成25年8月24日（土）13:30～16:45

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11号館）北4階405教室

講師：独立行政法人 産業技術総合研究所 計測標準研究部門 研究員 清水 森人 先生

(3) 第2回講義

講義名称：医用画像工学

開催日時：平成25年12月14日（土）13:30～16:45

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11号館）北4階405教室

講師：法政大学 理工学部応用情報工学科 教授 尾川 浩一 先生

(4) 第3回講義

講義名称：測定における誤差解析

開催日時：平成26年1月11日（土）13:30～16:45

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11号館）北4階405教室

講師：立教大学 理学研究科 特任准教授 洞口 拓磨 先生

(5) 第4回講義

講義名称：医学物理学基礎

開催日時：平成26年2月8日（土）13:30～16:45

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11号館）北4階405教室

講師：帝京大学 医療技術学部 古徳 純一 先生

(6) 第5回講義

講義名称：中性子捕捉療法

開催日時：平成26年3月7日（金）18:00～19:30

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11号館）北4階405教室

講師：都大学原子炉実験所 粒子線腫瘍学研究センター 教授 小野 公二 先生

4-3 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブコース） 【薬剤師向け講義】

■概要

(1) 名称

がんプロインテンシブコース【薬剤師向け講義】

(2) 講義名、日時、場所、講師

講義名称：支持療法～重要な Minor topic(末梢神経毒性、心毒性、眼毒性など)～

開催日時：平成26年2月19日（水）18:30～20:00

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11号館）北4階406教室

講師：国立がん研究センター中央病院 薬剤部 齋藤 義正 先生

4-4 順天堂大学企画講座（セミナー）

■概要

(1) 名称

『Notch 研究の最前線～ショウジョウバエ研究からの次世代抗がん剤の開発～』

(2) 日時、場所

開催日時：2013年12月11日（水）18:00～19:30

開催場所：順天堂大学センチュリータワー北3階307教室

(3) 演者、座長

演者：Shinya Yamamoto, D.V.M., Ph.D,

座長：順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター 今井 美沙 助教

■資料

Notch研究の最前線

～ショウジョウバエ研究から 次世代抗がん剤の開発～

2013年12月11日(水) 18時00分-19時30分
センチュリータワー 北3F 307教室



【講師】

Shinya Yamamoto, D.V.M., Ph.D.,
NRI Fellow
Jan and Dan Duncan Neurological Research Institute (NRI)
Department of Molecular and Human Genetics
Baylor College of Medicine (BCM)

Dr. Yamamotoは東京大学農学部獣医学専攻を卒業後、米国ペイラー医科大学Dr. Hugo Bellenラボにて学位を取得し、ごく最近独立された、新進気鋭のショウジョウバエ研究者です。今回来日された機会に、順天堂大学において講演をお願いしました。

最先端の研究の話(Yamamoto S et.al., *Science*, 338 (6111): 1229-1232)の他、世界最大の医療研究複合施設Texas Medical Centerでショウジョウバエの研究をする理由(モデル動物のがん研究への貢献)、日本と米国の研究環境の違い、米国での学位取得方法などについても経験を交えてお話いただく予定です。多数の御来聴をお待ち致しております。

<References>

Yamamoto S, Charnig W-L, Rana NA, Kakuda S, Jaiswal M, Bayat V, Xiong B, Zhang K, Sandoval H, David G, Wang H, Haltiwanger RS, Bellen HJ (2012) A mutation in EGF repeat-8 of Notch discriminates between Serrate/Jagged and Delta family ligands. *Science*, 338 (6111): 1229-1232.

Giagtzoglou N, Li T, Yamamoto S, Bellen HJ (2013) dEHBP1 regulates Scabrous secretion during Notch mediated lateral inhibition. *Journal of Cell Science*, 126(Pt 16):3686-96.

Giagtzoglou N*, Yamamoto S*, Zitserman D, Graves HK, Schulze KL, Wang H, Klein H, Bellen HJ (2012) dEHBP-1 regulates Notch signaling during the cell fate decisions in the external sensory organs of adult *Drosophila*. *Journal of Cell Biology*, 196: 65-83 (*equal contribution).

連絡先：先導的がん医療研究開発センター 03-6801-5736

4-5 順天堂大学市民公開講座

■概要

(1) 名称

市民公開講座「遺伝情報を知ってがんの予防ができる時代がやってくる？」

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年2月15日（土）13:00～17:30

開催場所：順天堂大学センチュリータワー南8階

参加対象：一般

(3) 演者、座長

演者：Medical Director & Breast Cancer Surgeon, Pink Lotus Breast Center Kristi Funk

Program Director, FarGen-Ministry of Health, Faroe Islands Bogi Eliassen

理化学研究所 予防医療・診断技術開発プログラムディレクター 林崎 良英

東京医科歯科大学 難治疾患研究所分子遺伝分野 教授 三木 義男

がん研有明病院 遺伝子診療部 部長 新井 正美

順天堂大学 分子病理病態学 教授 樋野 興夫

順天堂大学 形成・再建外科学 教授 水野 博司

順天堂医院 遺伝相談外来 日米認定遺伝カウンセラー 田村 智英子

順天堂大学 産婦人科学 准教授 寺尾 泰久

順天堂大学 血液内科学 教授 小松 則夫

順天堂大学 臨床腫瘍学 教授 加藤 俊介

座長：順天堂大学 乳腺・内分泌外科学 教授 齊藤 光江

(4) 参加者の概要

参加者数：132名

(5) 主催

順天堂大学

■資料

・案内

市民公開講座

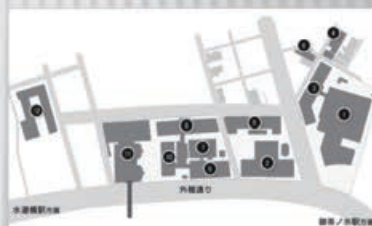
平成24年度文部科学省採択事業がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

プログラム

- 13:00-13:05 開会のことば 新井 一 順天堂大学大学院 医学研究科長
- 13:05-16:50 **討論会 遺伝情報でがんの予防ができるか？**
- 司会 齊藤 光江 順天堂大学大学院医学研究科 乳腺・内分泌外科学 教授
コメンテーター 林崎 良英 理化学研究所 予防医療・診断技術開発プログラムディレクター
- 13:05-14:50 討論会 **第一部 遺伝情報や癌に関してわかってきたこと**
- 15:05-16:50 討論会 **第二部 癌の予防医学と将来展望**
- Kristi Funk** Medical Director & Breast Cancer Surgeon,
Pink Lotus Breast Center
- Bogi Eliassen** Program Director, FarGen-Ministry of Health, Faroe Islands
- 三木 義男 東京医科歯科大学 難治疾患研究所分子遺伝分野 教授
新井 正美 がん研有明病院 遺伝子診療部部長
樋野 興夫 順天堂大学大学院医学研究科 分子病理病態学 教授
水野 博司 順天堂大学大学院医学研究科 形成・再建外科学 教授
田村 智英子 順天堂医院 遺伝相談外来 日米認定遺伝カウンセラー
寺尾 泰久 順天堂大学大学院医学研究科 産婦人科学 准教授
小松 則夫 順天堂大学大学院医学研究科 血液内科学 教授
加藤 俊介 順天堂大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学 教授
- 16:50-17:00 総括 高橋 和久 順天堂大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 教授

2月15日(土)
13:00 ~ 17:00

順天堂大学
センチュリータワー南8階会議室



駐車場はございませんので、
電車またはバスでお越しください。

参加費無料 同時通訳あり
要事前登録 (下記URLより登録してください)
URL <http://www.riken.jp/pr/events/events/20140215/>
Email event-pmi@riken.jp

海外パネリストの紹介



Kristi Funk

女優アンジェリーナ・ジョリーさんの
予防的乳房手術を行った医師



Bogi Eliassen

欧州フェロー諸島において全国民の全ゲノム
解析を実施したゲノムプログラムディレクター

主催 順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター(がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン)
共催 順天堂医院乳腺センター 順天堂医院がん治療センター 理化学研究所
順天堂大学連絡先 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局 03-5802-1710(直通)

「遺伝情報を知ってがんの予防ができる時代がやってくる？」

・パンフレット

平成24年度文部科学省採択事業 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

● **討論会**
遺伝情報でがんの予防ができるか?

市民公開講座

「遺伝情報を知ってがんの予防ができる時代がやってくる?」

2014年2月15日(土) 13:00~17:00 順天堂大学センチュリータワー南8階会議室

主催 順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター(がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン)
共催 順天堂医院乳腺センター 順天堂医院がん治療センター 理化学研究所

PROGRAM

プログラム

13:00～13:05	開会のことば
	新井 一 順天堂大学大学院 医学研究科長
13:05～16:50	討論会 遺伝情報でがんの予防ができるか？
	司 会 齊藤 光江 順天堂大学大学院医学研究科 乳腺・内分泌外科学 教授
	コメンテーター 林崎 良英 理化学研究所 予防医療・診断技術開発プログラムディレクター
13:05～14:50	討論会 第一部 遺伝情報や癌に関してわかってきたこと
	休 憩
15:05～16:50	討論会 第二部 癌の予防医学と将来展望
	Kristi Funk Medical Director & Breast Cancer Surgeon, Pink Lotus Breast Center
	Bogi Eliassen Program Director, FarGen-Ministry of Health, Faroe Islands
	三木 義男 東京医科歯科大学 難治疾患研究所分子遺伝分野 教授
	新井 正美 がん研有明病院 遺伝子診療部 部長
	樋野 興夫 順天堂大学大学院医学研究科 分子病理病態学 教授
	水野 博司 順天堂大学大学院医学研究科 形成・再建外科学 教授
	田村 智英子 順天堂医院 遺伝相談外来 日米認定遺伝カウンセラー
	寺尾 泰久 順天堂大学大学院医学研究科 産婦人科学 准教授
	小松 則夫 順天堂大学大学院医学研究科 血液内科学 教授
	加藤 俊介 順天堂大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学 教授
16:50～17:00	総 括
	高橋 和久 順天堂大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 教授

・当日の様子



Dr. Kristi Funk



Mr. Bogi Eliassen



討論会



記者会見

4-6 島根大学 神在りの圏メディカルカフェ

■概要

(1) 名称

神在りの圏 メディカルカフェ

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成25年7月28日（日）14:00～16:00

開催場所：島根大学医学部付属病院 外来中央診療棟3階カンファレンス室「だんだん」

参加対象：患者、患者家族他

(3) 参加者の概要

参加者数：27名（相談者3名、相談者家族1名、準備委員14名、見学者5名、マスコミ関係者4名）

(4) 主催

島根大学

■資料

神在りの囀 メディカルカフェ

予約制

日時

7月28日(日)14:00～16:00

会場

島根大学医学部附属病院
外来中央診療棟3階カンファレンス室

お申し込み

お申込みはチラシ裏面の様式にご記入のうえ、FAXにてお送りください。

FAX 0853-20-2580

お問い合わせ

島根大学医学部がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務室 電話 0853-20-2576

4-7 島根大学 山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ） 夏季セミナー

■概要

(1) 名称

山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）夏季セミナー

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成25年8月25日（日）8:30～16:15（8:15～受付）

開催場所：松江テルサ 中会議室、小会議室（松江駅北口より徒歩1分）

(3) 参加者の概要

参加者数：23名

(4) 主催

島根大学

4-8 島根大学 放射線講義

■概要

(1) 講義名、日時、場所、講師

講義名称：『順天堂大学における放射線治療の現状と問題点』

開催日時：平成25年12月13日（金）18:30～20:00

開催場所：島根大学医学部みらい棟4階 ギャラクシー

講師：順天堂大学医学部放射線科 教授 笹井 啓資

(2) 参加者の概要

参加者数：18名

(3) 主催

島根大学

■資料

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン・放射線講義報告書

【日時】 平成25年12月13日（金） 18:30～20:00

【会場】 島根大学医学部みらい棟4階 ギャラクシー

【対象】 がんプロ連携大学教員・医療従事者・学生他

【主催】 島根大学医学部

【共催】 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」

【参加者】 医師12名、学生3名、事務員3名、計18名

【講義】 司会 島根大学医学部放射線腫瘍学 教授 猪俣泰典 先生

演者 順天堂大学医学部放射線科 教授 笹井 啓資 先生

【演題】 「順天堂大学における放射線治療の現状と問題点」

【TV配信】 島根県立奥出雲病院と済生会江津総合病院と繋ぐ予定でしたが中止となりました。



講師：笹井 啓資先生



講義会場の様子

4-9 島根大学 緩和ケア講義

■概要

(1) 講義名、日時、場所、講師

講義名称：『がん性痛の基本的な考え方』

開催日時：平成26年1月7日（火）18:30～20:00

開催場所：島根大学医学部みらい棟4階 ギャラクシー

講師：昭和大学病院 緩和医療科 教授 緩和ケアセンター長 樋口 比登実

(2) 参加者の概要

参加者数：22名

(3) 主催

島根大学

■資料

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 緩和ケア講義報告書

【日時】 平成26年1月7日（火） 18:30～20:00

【会場】 島根大学医学部みらい棟4階 ギャラクシー

【主催】 島根大学医学部

【共催】 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」

【参加者】 医師16名、看護師3名、事務員3名、計22名

【TV配信】 済生会江津総合病院 9名参加

【講義】 司会 島根大学医学部緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦 先生

演者 昭和大学病院 緩和医療科 教授

緩和ケアセンター長 樋口 比登実 先生

【演題】 「がん性痛の基本的な考え方」



講師：樋口 比登実先生



講義会場の様子

4-10 島根大学 市民公開講座

■概要

(1) 名称

第1回 江津市民公開講座「江津のがん医療のこれからを考えよう」

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年1月25日（土）13:30～15:30

開催場所：済生会江津総合病院 2階 講堂

参加対象：一般市民、医療従事者

(3) 講演

第1部

1. 「もっと知っておきたい大腸がん」 済生会江津総合病院 副院長 竹林 正孝
2. 「がん医療と地域連携」 島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威
3. 「入院しない！つらくない！抗がん剤治療」 島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 助教 津端 由佳里

第2部

質疑応答

(4) 参加者の概要

参加者数：105名

(5) 主催

島根大学

■資料

第1回 江津市民公開講座

～江津のがん医療のこれからを考えよう～開催報告

日 時：平成26年1月25日（土）13：30～15：30

会 場：済生会江津総合病院 2階 講堂

プログラム

開会の辞 江津医師会 会長 船津 和夫先生
座長 済生会江津総合病院 院長 堀江 裕先生

第1部 講演

【第1講演】 済生会江津総合病院 副院長 竹林 正孝 先生
ご略歴紹介（堀江先生）
ご講演「もっと知っておきたい大腸がん」（15分）
質疑応答（5分）

【第2講演】 島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
教授 磯部 威 先生
ご略歴紹介（堀江先生）
ご講演「がん医療と地域連携」（15分）
質疑応答（5分）

—休憩（10分）—

【第3講演】 島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
助教 津端 由佳里 先生
ご略歴紹介（堀江先生）
ご講演「入院しない！つらくない！抗がん剤治療」（15分）
質疑応答（5分）

—休憩（5分）—

第2部 質問コーナー

司会 島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
教授 磯部 威 先生
回答者 済生会江津総合病院 副院長 竹林 正孝 先生
島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
助教 津端 由佳里 先生

閉会の辞 済生会江津総合病院 院長 堀江 裕先生

出席者（合計105名）

一般・江津総合病院医療従事者 90名、江津総合病院スタッフ 10名、島根大学 5名

第1回 江津市民公開講座
～江津のがん医療のこれからを考えよう～
と き 平成26年1月25日(土)
13:30～15:30

ところ 済生会江津総合病院 2階 講堂

第1部 講演会 13:30～14:30
開会の辞：心利会 船津内科医院 院長 船津 和夫 先生
座長：済生会江津総合病院 院長 堀江 裕 先生
●「もっと知っておきたい大腸がん」
済生会江津総合病院 副院長 竹林 正孝 先生
●「がん医療と地域連携」
島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
教授 磯部 威 先生
●「入院しない！つらくない！抗がん剤治療」
島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
助教 津端 由佳里 先生

第2部 質問コーナー！ 14:30～15:30
司会：島根大学医学部内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威 先生
●第1部の先生方との質疑応答を行います。どしどし質問ください！
※済生会正室玄関に質問紙を配置しています。事前に設置できます。

主 催：がんアロフェッショナル連携推進プラン
共催/後援：済生会江津総合病院・江津市・江津市医師会
問い合わせ：がんアロフェッショナル連携推進プラン事務局 堀江 裕・船津 和夫
電話：0853-20-2576 FAX：0853-20-2580
E-MAIL: hirohiko@shimane-u.ac.jp



司会：堀江院長、船津先生



会場の様子

平成26年1月28日(火)
山陰中央新報 20面

がん早期発見
重要性学ぶ

江津で市民講座

江津市江津町の県済生会江津総合病院（堀江裕院長）で25日、「江津のがん医療のこれからを考えよう」と題した市民公開講座が開かれ、来場者約100人が、がん検診の有効性などについて理解を深めた。

外科医で大腸がんに
詳しい同病院の竹林正
孝副院長が講演。竹林



孝

大腸がんについて講演する
竹林正孝副院長

副院長は大腸がんについて、江津市民の検診率が10%程度と低いことを指摘した上で、初期段階では自覚症状がほとんどないため、検診による早期発見が重要であることを力説。

また、異常が見つかった後に精密検査を受けた場合、その後5年間の生存率が84%となるが、受けなかった場

講座は島根大医学部などでつくる「がんプロフェッショナル養成基盤推進フランシ」が主催。同学部の磯部威教授や津端由佳里助教の講演もあった。

合は45%にとどまること
とを紹介。近年はコン
ピューター断層撮影
(CT)による負担感
の少ない精密検査がで
きるようになり、同病
院でも昨年から取り入
れていることを説明し
た。

[illegible]

●江津市議会議員の山根兼三郎氏のホームページに、江津市民公開講座の記事がのっています。
<http://kenzaburo.jp/?p=10211>

(記事部分の抜粋)

「済生江津総合病院で「第1回 江津市民公開講座 ～江津のがん医療のこれからを考えよう～」が開催されました。

がんに対して関心ある人が多く、会場は満員になっていました。いまや一生のうちで2人に1人はガンになるそうです。

要点は、①鳥根県は全国でもガンで亡くなる方が多い(女性全国1位 男性3位)、②健診による早期発見、③抗がん剤は年々進歩していて副作用が少なくなっている。」

4-11 岩手医科大学 がんプロ市民公開講座

■概要

(1) 名称

岩手医科大学市民公開講座「優しいがん医療に必要なこと・人 ～患者と医療者を繋ぐ～」

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成25年10月20日（日）13:00～

開催場所：いわて県民情報交流センター・アイーナ 804 会議室
（〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号）

参加対象：一般市民、医療従事者

(3) 基調講演

1. がん研有明病院 病院長 門田 守人
2. 順天堂大学 分子病理病態学 教授 樋野 興夫

(4) シンポジウム

順天堂大学 臨床薬理 教授 佐瀬 一洋
HOPE☆プロジェクト 理事長 櫻井 なおみ
NPO 法人びあサポートわかば会 代表 寺田 佐代子
鳥取大学 医学部保健学科 准教授 安藤 泰至

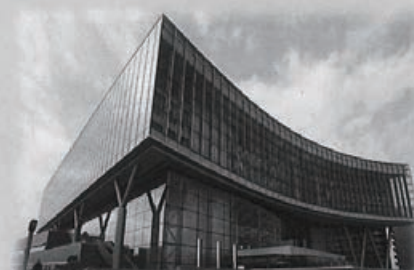
(5) 参加者の概要

参加者数：46名

(6) 主催

岩手医科大学

■資料



がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業
～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～

開催日時

平成25年10月20日（日）13時～

市民公開講座

『優しいがん医療に必要なこと・人～患者と医療者を繋ぐ～』

開催場所

いわて県民情報交流センター・アイーナ 804 会議室

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号 TEL:019-606-1717

プログラム

13:00 ～ 13:10 開会の辞(岩手医科大学 理事長・学長 小川 彰)

13:10 ～ 13:40 基調講演①(がん研有明病院 病院長 門田 守人)

13:40 ～ 14:10 基調講演②
(順天堂大学 分子病理病態学 教授 樋野 興夫)

休憩 10 分間

14:20 ～ 15:20 シンポジウム(各 15 分×4=60 分、討論 40 分)

*以下、シンポジスト

佐瀬 一洋(順天堂大学 臨床薬理 教授)

櫻井 なおみ(HOPE☆プロジェクト 理事長)

寺田 佐代子(NPO 法人びあサポートわかば会 代表)

安藤 泰至(鳥取大学 医学部保健学科 准教授)

15:20 ～ 16:00 総合討論

16:00 ～ 閉会の辞(岩手医科大学 医学部長 小林 誠一郎)

座長:杉山 徹(岩手医科大学 産婦人科学講座 教授)

司会:柏葉 匡寛(岩手医科大学 外科学講座 講師)

木村 祐輔(岩手医科大学 外科学講座 講師)

対 象

一般市民・医療従事者

《お問い合わせ先》 岩手医科大学 医学部教務課(がんプロ担当)

TEL: 019-651-5111 (内線: 3111、5513)

E-mail: ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

順天堂大学・鳥根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学

4-12 東京理科大学『第29回薬学講座』

■概要

(1) 名称

東京理科大学「第29回薬学講座」

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成25年10月19日（土）10:30～17:00

開催場所：東京理科大学 神楽坂キャンパス 1号館 17階記念講堂

参加対象：薬剤師、医療関係者、学生、一般の方

(3) 講演

1. 「薬の効き方・効かせ方」 新潟薬科大学 理事長・学長 寺田 弘
2. 「時間薬理学に基づいた薬の適正使用」 自治医科大学 医学部臨床薬理学 教授 藤村 明夫
3. 「ナノDDSとしてのリポソーム医薬品－現状と今後の展望」
エーザイ株式会社 理事 製剤戦略担当部長 菊池 寛
4. 「予見的医薬品情報を可能とする基礎薬学の知識」
近畿大学薬学部医薬品評価解析学分野 教授 松山 賢治

(4) 参加者の概要

参加者数：97名

(5) 主催

東京理科大学薬学部

4-13 明治薬科大学 講演会

■概要

(1) 名称

がんプロフェッショナル養成基盤事業 講演会

『米国薬剤師の臨床活動へのチャレンジ：糖尿病管理、ワクチン接種からがん患者のケアまで』

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成25年5月23日（木）16:00～18:00

開催場所：明治薬科大学 清瀬キャンパス 101教室

参加対象：がんプロフェッショナル養成基盤推進事業参加大学学生・大学院生・教員

(3) 演者

Wakana Hayashi-Brune 先生, CVS/pharmacy, Dallas, TX, USA

(4) 参加者の概要

参加者数：68名

(5) 主催

明治薬科大学

■資料



がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン Wakana Hayashi-Brune先生講演会のお知らせ

Wakana Hayashi-Brune先生は約15年前に明治薬科大学を卒業し、その後米国薬剤師免許を取得し現在まで10年間に渡りテキサス州ダラス市で薬剤師として活躍しています。

現在はCVS/pharmacyに勤務し、糖尿病管理、ワクチン接種からがん患者のケアまで幅広い臨床薬剤師活動をされています。今回、一時帰国された機会に本学での学生と教員を対象に講演会を企画しました。

過去10年間に米国薬剤師の臨床活動は日本での変化を先取りした形で大きく変化しています。今後の日本での薬剤師活動の展開を考える上でも興味深いテーマですので関心のある方はどうか振るってご参加ください。

演題 「米国薬剤師の臨床活動へのチャレンジ:糖尿病管理、
ワクチン接種からがん患者のケアまで」

演者 Wakana Hayashi-Brune先生
CVS/pharmacy, Dallas, TX, USA

日時 平成25年5月23日(木) 午後4時から6時
場所 明治薬科大学清瀬キャンパス 101教室

対象 がんプロフェッショナル養成基盤推進事業参加
大学学生・大学院生・教員

主催 大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
明治薬科大学海外医療研修コース
連絡先 薬物治療学 越前宏俊 教務部、大学院担当

4-14 明治薬科大学 講演会

■概要

(1) 名称

平成25年度第2回明治薬科大学病院薬学コース特別講演会・がんプロフェッショナル養成基盤事業
特別講演会
『緩和医療の基本的知識と薬剤師の視点』

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成25年6月15日（土）13:00～16:00

開催場所：明治薬科大学 清瀬キャンパス 101 教室

参加対象：明治薬科大学病院薬学コース学生、がんプロフェッショナル養成基盤推進事業参加大学学部学生・
大学院生・教員

(3) 演者

明治薬科大学臨床薬剤学 教授

一般社団法人 日本緩和医療薬学会 代表理事 加賀谷 肇 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：94 名

(5) 主催

明治薬科大学

■資料



明治薬科大学 病院薬学コース・がんプロフェSSIONAL 養成基盤推進プラン合同特別講演会のお知らせ

加賀谷肇先生は緩和医療に関わる薬剤師の立場の確立に先導的な役割を果たされており、本学での教育とともに日本緩和医療薬学会の代表理事も務めています。今回、明治薬科大学の病院薬学コース学生を対象として特別講演会を実施するに当たり大学院がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プランも共催させて頂き上記の講演会を開催することになりました。参加校の大学院・教員の方々に興味のある方は振るってご参加ください。

記

演題 「緩和医療の基本的知識と薬剤師の視点」

演者 加賀谷 肇 先生

明治薬科大学臨床薬剤学 教授
一般社団法人 日本緩和医療薬学会 代表理事

日時 平成25年6月15日(土) 午後1時から4時
場所 明治薬科大学清瀬キャンパス 101教室

対象 明治薬科大学病院薬学コース学生、がんプロフェSSIONAL養成基盤
推進事業参加大学学部学生・大学院生・教員

主催 大学院がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プラン
連絡先 教務課、大学院係 grad@my-pharm.ac.jp

4-15 明治薬科大学 講演会

■概要

(1) 名称

がんプロフェッショナル養成基盤事業 講演会
『集学的癌治療に向けた中性子補足療法の応用展開』

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成25年6月26日（水）16:00～17:30
開催場所：明治薬科大学 清瀬キャンパス 101 教室
参加対象：がんプロフェッショナル養成基盤推進事業参加大学学生・大学院生・教員

(3) 演者

東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻、客員研究員
医療法人社団杏林堂、杏林堂クリニック 外科・胃腸科医院 柳衛 宏宣 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：16 名

(5) 主催

明治薬科大学

■資料



がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 柳衛宏宣先生講演会のお知らせ

柳衛宏宣先生は高知医科大学卒業後、東京大学大学院で学位を取得され、米国留学後、東京大学工学系研究科准教授を経て、現在研究と臨床の両面で活躍されています。

先生は中性子補足療法を用いた先進的がん治療法の開発を研究されており、日本中性子補足療法学会、日本胃がん学会の評議委員を務めるなど、活発な学会活動もされています。今回、先生の講演会を下記の演題で企画いたしました。今後の日本でのがん専門薬剤師活動の展開を考える上でも興味深いテーマですので関心のある方は振るってご参加ください。

記

演題 集学的癌治療に向けた中性子捕捉療法の応用展開

演者 柳衛 宏宣 先生

東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻、客員研究員
医療法人社団杏林堂、杏林堂クリニック 外科・胃腸科医院

日時 平成25年6月26日(水) 午後4時から5時30分

場所 明治薬科大学清瀬キャンパス 101教室

対象 がんプロフェッショナル養成基盤推進事業参加
大学学生・大学院生・教員

主催 大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
連絡先 教務課、大学院係 grad@my-pharm.ac.jp

4-16 明治薬科大学 講演会

■概要

(1) 名称

がんプロフェッショナル養成基盤事業 講演会

『乳がんの薬剤介入によるリスク軽減における薬剤師の役割 ～Asco Update 2013～ 』

『アメリカにおける薬剤師教育：臨床現場でどう学ぶか ～PharmD プログラムからレジデンシー制度まで～ 』

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成25年9月20日（金）16:00～

開催場所：明治薬科大学清瀬キャンパス 講義棟2階203教室

参加対象：がんプロフェッショナル養成基盤推進事業参加大学学生・大学院生・教員

(3) 演者

Kaiser Permanente San Diego Medical Center Ambulatory Care Pharmacist-Hematology/Oncology

大友 千絵子 Pharm.D.,BCOP

(4) 参加者の概要

参加者数：25名

(5) 主催

明治薬科大学

■資料



がんプロフェッショナル養成基盤事業 講演会のお知らせ

**「乳がんの薬剤介入によるリスク軽減における
薬剤師の役割～Asco Update 2013～」
「アメリカにおける薬剤師教育：臨床現場でどう
学ぶか～PharmDプログラムからレジデンシー
制度まで～」**

**大友千絵子 Pharm.D., BCOP
Kaiser Permanente San Diego Medical Center
Ambulatory Care Pharmacist-Hematology/Oncology**

**日時 平成25年9月20日（金曜日） 午後4時から
場所 明治薬科大学清瀬キャンパス
講義棟2階 203教室**

大友さんは本学を平成12年に卒業し、その後米国でも薬学部を卒業しPharmDの学位と薬剤師資格を取得した後、現在米国の病院で臨床薬剤師として活躍されています。今回、先生の一時帰国に会わせて講演会を企画しました。学生の皆さんの積極的な参加を期待しています。

主催	大学院がんプロフェッショナル養成基盤事業 海外医療研修コース
連絡先	薬物治療学 越前宏俊 echizen@my-pharm.ac.jp 教務部、大学院担当

4-17 明治薬科大学 講演会

■概要

(1) 名称

がんプロフェッショナル養成基盤事業 一般向け講演会
『がんの薬物療法を学んでみませんか ～抗がん薬によるがんの治療を安全に行うために～』

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成25年10月19日（土）13:00～14:30（受付開始 12:30）
開催場所：明治薬科大学清瀬キャンパス 講義棟1階104講義室
参加対象：病院・薬局・学校、一般の方

(3) 演者

明治薬科大学 薬学部教授、日本臨床腫瘍薬学会 理事長 遠藤 一司 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：120名

(5) 主催

明治薬科大学

4-18 明治薬科大学 講演会

■概要

(1) 名称

がんプロフェッショナル養成基盤事業 一般向け講演会
『緩和医療の基礎知識と役割』

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年3月8日（土）13:00～16:00
開催場所：明治薬科大学清瀬キャンパス 講義棟1階101講義室
参加対象：がんプロフェッショナル養成基盤推進事業参加大学学生（病院薬学コース）・大学院生・教員

(3) 演者

長野市民病院薬剤部 久保田 豊

(4) 参加者の概要

参加者数：80名

(5) 主催

明治薬科大学

5. 連携大学 ICT 特別講義

5-1 連携大学 ICT 特別講義『患者が求めるがん医療』

■概要

(1) 日時、場所

開催日時：平成 25 年 5 月 14 日（火）18:30～20:00

講義会場：岩手医科大学 9 号館第 2 講義室（連携大学 TV 会議接続）

(2) 主担当大学・主担当教員

岩手医科大学 産婦人科学講座 教授 杉山 徹

岩手医科大学 外科学講座 講師 柏葉 匡寛

(3) 共同担当大学

順天堂大学・島根大学

(4) ゲストスピーカー

NPO 法人 グループ・ネクサス代表 天野 慎介

NPO 法人 がんサポートかごしま代表 三好 綾

■資料

平成25年度 順天堂大学大学院特別講義
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

連携大学ICT特別講義

『患者が求めるがん医療』

主担当大学・担当教員

岩手医科大学

杉山 徹

(産婦人科学講座 教授)

岩手医科大学

柏葉 匡寛

(外科学講座 講師)

ゲストスピーカー

NPO グループネクス代表 天野 慎介

NPO がんサポートかごしま代表 三好 綾

日時：2013年 5月 14日 (火) 18:30～20:00

会場：順天堂大学 本郷キャンパス

11号館(Century tower) 北4階 406教室
(エレベーターDで4階までお越しください)

問い合わせ先：順天堂大学 学術・研究支援課

TEL: 03-5802-1020

5-2 連携大学 ICT 特別講義『新薬、機器開発（PMDA）』

■概要

(1) 日時、場所

開催日時：平成25年6月12日（水）18:30～20:00

講義会場：順天堂大学本郷キャンパス 10号館8階803カンファレンスルーム（連携大学TV会議接続）

(2) 主担当大学・主担当教員

順天堂大学 臨床薬理学 教授 佐瀬 一洋

東京理科大学 薬学部薬学研究科 教授 東 達也

(3) 共同担当大学

鳥取大学

(4) ゲストスピーカー

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）審議役 佐藤 岳幸

■資料

平成25年度 順天堂大学大学院特別講義
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

連携大学ICT特別講義

『新薬、機器開発(PMDA)』

主担当大学・担当教員

順天堂大学

佐瀬 一洋

(臨床薬理学 教授)

東京理科大学

東 達也

(薬学部薬学研究科 教授)

ゲストスピーカー

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

審議役 佐藤 岳幸

開催日 : 2013 年 6 月 12 日 (水)

時間 : 18:30~20:00

会場 : 本郷キャンパス 10号館

8階 803カンファレンスルーム

連携大学: 順天堂大・島根大・鳥取大・岩手医大

東京理科大・明治薬科大・立教大

問い合わせ先: 順天堂大学 学術・研究支援課

MAIL: ganpro@juntendo.ac.jp

5-3 連携大学 ICT 特別講義 『がん医療コーディネーター（CRC/共同研究コーディネーター）』

■概要

(1) 日時、場所

開催日時：平成25年10月2日（水）18:30～20:00

講義会場：明治薬科大学（連携大学 TV 会議接続）

(2) 主担当大学・主担当教員

明治薬科大学 薬物治療学 教授 越前 宏俊

明治薬科大学 医薬品安全管理学 教授 遠藤 一司

(3) 共同担当大学

東京理科大学・順天堂大学

(4) ゲストスピーカー

独立行政法人国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター、臨床試験支援室 豊崎 佳代

(5) 講演：「がん医薬品開発に関わる薬剤師の役割」

「がん薬物治療における薬剤師の関与の歴史と現状」（遠藤 一司 先生）

「がん医薬品開発に関わる薬剤師の先進的な役割」（豊崎 佳代 先生）

■資料

平成25年度 順天堂大学大学院特別講義
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
連携大学ICT特別講義
『がん医療コーディネーター
(CRC/共同研究コーディネーター)』

主担当大学・担当教員

明治薬科大学

越前 宏俊

(薬物治療学 教授)

明治薬科大学

遠藤 一司

(医薬品安全管理学 教授)

ゲストスピーカー

独立行政法人 国立がん研究センター

早期・探索臨床研究センター、臨床試験支援室 豊崎 佳代

日時：2013年 10月 2日 (水) 18:30～20:00

会場：順天堂大学 本郷キャンパス

10号館 8階 803カンファレンスルーム

問い合わせ先：順天堂大学 学術・研究支援課

MAIL: ganpro@juntendo.ac.jp

5-4 連携大学 ICT 特別講義

『病診薬連携と地域医療・MSW(地域医療のメディカルソーシャルワーカー)』

■概要

(1) 日時、場所

開催日時：平成26年1月16日(木) 18:30～20:00

講義会場：島根大学医学部講義棟2階会議室(連携大学TV会議接続)

(2) 主担当大学・主担当教員

島根大学 医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

(3) 共同担当大学

順天堂大学・岩手医科大学

(4) ゲストスピーカー

島根大学医学附属病院 医療サービス課 MSW 槇原 貴子

島根大学医学附属病院 薬剤部 薬剤主任 井上 昌樹

広島赤十字・原爆病院総合相談支援センター 相談員 渡部 弘太郎

■資料

平成25年度 順天堂大学大学院特別講義
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

【連携大学ICT特別講義】

『病診薬連携と
地域医療・MSW』

日時：2014年 1月 16 日（木） 18:30～20:00

会場：本郷キャンパス

10号館 2階 203カンファレンスルーム

司会：島根大学 須谷 顕尚

（呼吸器・化学療法内科 助教）

ゲストスピーカー：

島根大学医学附属病院 医療サービス課 MSW

榎原 貴子

島根大学医学附属病院 薬剤部 薬剤主任

井上 昌樹

広島赤十字・原爆病院総合相談支援センター 相談員

渡辺 弘太郎

＊本講義は大学院特別講義（必修分）の単位として
カウントされますので、がんプロ登録を
おこなっていない大学院生も是非ご参加ください。

問い合わせ先：順天堂大学 学術・研究支援課

MAIL: ganpro@juntendo.ac.jp

6. 共同カンファレンス等

6-1 乳腺臨床・研究 TV カンファレンス

■概要

(1) 名称

乳腺臨床・研究 TV カンファレンス

(2) 第 1 回

開催日時：平成 25 年 4 月 24 日（水）19：00～20：00

(3) 第 2 回

開催日時：平成 25 年 5 月 29 日（水）19：00～20：00

参加大学：順天堂大学・島根大学・岩手医科大学

(4) 第 3 回

開催日時：平成 25 年 7 月 17 日（水）

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

(5) 第 4 回

開催日時：平成 25 年 9 月 25 日（水）

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学

(6) 第 5 回

開催日時：平成 25 年 10 月 30 日（水）

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

(7) 第 6 回

開催日時：平成 25 年 11 月 27 日（水）

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

(8) 第 7 回

開催日時：平成 26 年 1 月 29 日（水）

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・順天堂医院練馬病院

(9) 第 8 回

開催日時：平成 26 年 2 月 26 日（水）

参加大学：順天堂大学・島根大学・岩手医科大学

(10) 第 9 回

開催日時：平成 26 年 3 月 26 日（水）

参加大学：順天堂大学・鳥取大学・岩手医科大学

6-2 がんプロ（ICT と人で繋ぐがん医療維新プラン）放射線治療関係者会議

■概要

(1) 名称

第1回がんプロ（ICT と人で繋ぐがん医療維新プラン）放射線治療関係者会議

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成25年4月11日（木）17：00～18：00

開催場所：横浜ランドマークタワー25階 ビジネスサポートフロア ワークショップルーム1（2511）
（神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1）

参加対象：教員のみ

(3) 参加者の概要

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

(4) 議題

1. これまでの経緯説明および質疑応答
2. 各大学の本プログラムにおける放射線治療関連に関する取り組みについて
3. 今後の課題

6-3 がんプロ共同研究 婦人科がん会議

■概要

(1) 名称

がんプロ共同研究 婦人科がん会議

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年1月31日（金）18:00～18:30

開催場所：東京ステーションコンファランス（サピアタワー）5階
（〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー5F）

参加対象：教員のみ

(3) 参加者の概要

参加大学：順天堂大学・鳥取大学・岩手医科大学

(4) 内容

子宮体癌のリンパ節転移の予測因子の探索を目的とした共同研究を行うことを協議した。

7. ニュースレター

7-1 ニュースレター第5号

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

2013
第5号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

第1回臨床研究チーム合宿 開催

～多施設・多職種チームで研究プロトコルを作成し、実践しよう～

参加校：順天堂大学、鳥根大学、鳥取大学、岩手医科大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学

平成25年
3/2(土)～3(日)
in
順天堂大学

順天堂大学 医学研究科 乳腺・内分泌外科学 教授 齊藤 光江

臨床研究チーム合宿記

2013年3月の第1土日に、順天堂大学第二期がんプログラムの各大学の大学院生有志たちが、それぞれの研究テーマを携えて晴海の研修所に集まった。3名の生物統計学の熱心な講師陣（山本、米本、松岡先生ら）の講義と、ビジネスコンサルタント大崎さんの楽しいチームビルディングの体験実習の後は4つのグループに分かれ、いよいよ一夜を共にするグループワークの始まりである。持ちよった研究テーマを発表し合い、各々8名ほどの多分野の大学院生たちが、全員で関われる研究テーマを決めていく。この作業の中で、リーダーシップ・コミュニケーション・フォローシップ・コンフリクトの解決法・エビデンスの重要性などを体得していく。医師・薬剤師・統計学者・医学物理士の那たちが、時に熱く、時に壁にぶつかり、最後はプロトコルを作り上げるというゴールに向かっていく中で、研究においてもチームワークが如何に大事であるかを学んでいった。と同時に、各大学の講師陣がチューターとして、これを見守り、所要所で集まって進捗を報告し合い、何を指導すべきかを討議した。結果、介入を試みたり、更に見守ったりと、こうしたグループワークの教育法を学ぶという、院生に負けないくらいエキサイティングな経験をした。

二日目の発表会においては、4グループとも見事に研究プロトコルを作り上げ、チューターの投票による優勝チームには、今後その実施を支援するという副賞が付いた。どのように研究課題を決めるのか、どのようなデザインをするのか、どのように計画書をまとめるのかのみならず、どのようにチームを作っていくのかということを院生も教員も学んだ濃い二日間であった。第一期がんプロ合宿で積み上げたノウハウを活かし、更に充実した企画になったと感じている。既に2チームは、研究の開始に向けて多職種・多大学ミーティングを始めている。実際の成果を挙げてこそこの企画であるから、今後、真のゴールに向けて教員一同支援していきたいと考えている。

急遽の企画にも関わらず、快く協力下さった講師の先生方、事務方、そして何より頑張った院生たちに、この場を借りて感謝申し上げたい。

合宿当日のスケジュール

期日	時間	内容
第1日目 (3月2日)	12:00～12:05	挨拶、事務連絡
	12:05～13:15	臨床研究のためのランチョンセミナー
	13:15～18:30	チーム研究実習（グループワーク）
	18:30～19:30	「チームの役割とは」ディナーセミナー
	19:30～21:30	グループワーク
第2日目 (3月3日)	9:00～11:00	発表会
	11:00～11:30	全体討論・感想
	11:30～12:00	修了式 等



第1回臨床研究チーム合宿

～多施設・多職種チームで、研究プロトコルを作成し、実践しよう～

島根大学 医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

合宿記

医療関連の多職種が集う合宿であり、しかも初対面の者も多く、うまく対話ができるのだろうか？また、このような短時間で研究のプロトコルが作成できるのだろうかという、不安を抱えての参加であった。ところが、会場内は活気に満ち溢れ、グループに分かれてからの討論では、それぞれがプロフェッショナリズムを存分に発揮し、夜中になっても時間など関係なく、一つの目標「多職種が関わることのできる研究計画書の作成」に没頭している姿には心を打たれるものがあった。また、この合宿は翌朝に行われた、各グループが作成したプロトコルの発表が着地点ではなく、まさにスタートであったことは、参加者全員が認識していることと思う。この素晴らしい合宿を企画した順天堂大の齊藤先生をはじめ、大きな包容力で指導にあたったチューターが存在もこの会を成功に導く力となった。偶然にも私が担当したチームが最優秀となった。今後このがんプログループで総力を挙げて研究を進め、がんプロの仕事として日本初の学会発表、論文化すべく始動している。夢が現実になる日は近い。



東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科 教授/TR部門長 深井 文雄

第1回臨床研究チーム合宿に参加して

「多施設、多職種チームで研究プロトコルを作成し実践する」とのフレーズに魅力を感じ、研究室の学生3名と助教の計5名で参加させて頂いた。学生は自身の卒業研究に関連した研究提案を携えての参加となったが、幸いそのうち2つの提案がグループテーマとして採用され、両グループの議論に立会った。両グループとも実際に多施設・多職種で構成されており、そのためか、始めは議論が噛み合っていなかった。夜も深まった頃から遠慮のない「言い争い」が始まり、議論は白熱化した。とはいえ「今晚中にまとめるのは無理かな？」と思いつつ当方は就寝した。そんな懸念をよそに、翌朝の発表会では見違えるようなプレゼンが展開された。各グループは、たった一晚の議論によって、もちろん至らない部分もあったが、臨床研究を見事に企画した。正に「チーム医療」を見る思いがした。残念ながら、私が立会った両グループとも、最優秀賞は逃したが、今もメンバー間での交流が続いており、議論された研究も進行している。

色々な意味で、意義深い合宿であった。企画された先生方に敬意を表すと共に、本研究チーム合宿が、更に回を重ねて行くよう願ってやまない。



連携7大学ICT講義が始まりました

本グループでは連携7大学を「ICT」と「循環型人材交流」で結び、地域から世界まで、さらに基礎から臨床まで俯瞰するがん研究者・医療人の養成を目的としています。

今年度からは、ICTを活用し連携7大学を繋ぐ、双方向の講義が始まりました。講義は年4回の開催となり、下記の予定となっております。詳細は、ホームページ (<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>) の「e-learning」から「大学院特別講義のお知らせ」を選択し、ご覧下さい。

連携大学ICT特別講義

講義内容	主担当大学・教員	ゲストスピーカー	期 日
患者が求めるがん医療	岩手医科大学 産婦人科学 教授 杉山 徹 岩手医科大学 外科学講座 講師 柏葉 匡寛	NPO法人 グループネクサス 代表 天野 慎介 NPO法人 がんサポートかごしま 代表 三好 綾	5月14日(火) 18:30～20:00
新薬、機器開発 (PMDA)	順天堂大学 臨床薬理学 教授 佐瀬 一洋 東京理科大学 薬学部薬学科 教授 東 達也	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 審議役 佐藤 岳幸	6月12日(水) 18:30～20:00
がん医療コーディネーター (CRC/ 共同研究コーディネーター)	明治薬科大学 薬物治療学 教授 越前 宏俊 明治薬科大学 医薬品安全管理学 教授 遠藤 一司	未定	10月予定 18:30～20:00
病診薬連携と地域医療・MSW (地域医療のメディカル ソーシャルワーカー)	島根大学 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威	未定	平成26年 1月16日(木) 18:30～20:00

シンポジウム開催報告 順天堂大学 医学研究科 分子病理病態学 教授 樋野 興夫

2月28日(木) 国際シンポジウム

「先導的国際がん研究の動向：アスベスト暴露による中皮腫～環境発がんのリスク予知と予防への新しい展開～」が開催された(2月28日)。タイ、ベトナム、韓国、インドネシア、日本の研究者、さらに、厚労省、文科省、環境省をはじめ、多数の参加者があり、今後の国際交流・協力のありかたが大いに議論され、極めて充実した、大変有意義な国際シンポジウムであった。



2月28日(木) 国際シンポジウムの様子

3月11日(月) 市民公開シンポジウム

「「医療者が情報提供のみを行い、患者の自己決定を促す」ことが「患者を尊重すること」ではない」ことに、国民は気が付き始めている。「原則を身につけた研究者・医療人」を育成する為に「対話学・対話カフェ」を導入することは「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の使命であろう。その観点から、市民公開シンポジウム「対話学・対話カフェの重要性」(3月11日)が企画され、会場には多数の参加者があった。



3月11日(月) 市民公開講座の様子



Leading center for the development and research of cancer medicine

情報 コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- 順天堂大学 国際シンポジウム
テーマ「先導的国際がん研究の動向」
2013年2月28日(木) 13:00～16:30 順天堂大学 センチュリータワー 8階 801教室
- 順天堂大学 第1回臨床研究チーム合宿
～多施設・多職種チームで研究プロトコルを作成し、実践しよう～
2013年3月2日(土)～3日(日) 1泊2日 晴海グランドホテル
- 順天堂大学 市民公開シンポジウム
テーマ「対話学・対話カフェの重要性」
2013年3月11日(月) 13:00～15:30 順天堂大学 10号館 1階 105カンファレンスルーム

今後のスケジュール

- 連携大学ICT特別講義 テーマ「新薬、機器開発(PMDA)」
ゲストスピーカー：独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)審議役 佐藤 岳幸 氏
対 象：大学院生、医師・薬剤師・看護師など診療・教育・研究に携わる全ての医療人
2013年6月12日(水) 18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校で開講予定
- 外部評価委員会
2013年10月25日(金) 13:00～16:00 順天堂大学 10号館 1階 105カンファレンスルーム

編集後記

人間の身体と臓器、組織、細胞の役割分担とお互いの非連続性の中の連続性、そして傷害時における全体的な「いたわり」の理解は、世界、国家、民族、人間の在り方への深い洞察へと誘うのであろう。最近の報道に見る「いじめ」をはじめ「社会・組織・人格の劣化」に対する「日本国の処方箋」は、実は「偉大なるお節介症候群」(診断基準：1. 暇げな風貌 2. 偉大なるお節介 3. 速効性と英断)に、具象的に、内包されていると思える。がん医療の現場における「対話学・対話カフェ～偉大なるお節介～」の重要性の気づきでもある。「偉大なるお節介症候群」認定の選考項目として、(1)「役割意識&使命感」(2)「練られた品性&粋々たる余裕」(3)「賢明な寛容さ」(4)「実例と実行」(5)世の流行り廃りに一喜一憂せず、あくせくしない態度(6)軽やかに、そしてものを楽しむ。自らの強みを基盤とする(7)新しいことにも、自分の知らないことにも謙虚で、常に前に向かって努力する(8)行いの美しい人(a person who does handsome)(9)「冗談を実現する胆力」～sense of humorの勤め～(10)「ユーモアに溢れ、心優しく、俯瞰的な大局観のある人物」が挙げられる。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター 順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

7-2 ニュースレター第6号

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

2013
第6号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

連携7大学ICT講義について 6/12(水)開講

東京理科大学 薬学部 教授 東 達也

連携大学ICT特別講義「新薬、機器開発とPMDA」



平成25年度 第2回ICT特別講義が、6月12日に順天堂大学と東京理科大学の共同で行われた(順天堂大学10号館から配信)。本グループは「ICT」をキーワードに掲げており、ICT特別講義は目玉の一つと言えるものである。すなわち、ICTの活用により離れたキャンパスにしながら(移動のための時間や費用が不要で)、質の高い講義をライブで受けられ、さらに質問やコメントを投げかけて討論できる。

さて、がん研究の究極の目標は新薬開発であろう。そして今回のICT特別講義のテーマは、「新薬、機器開発とPMDA」である。まず、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)審議役の佐藤 岳幸 先生による講義が行われた。医薬品開発の現状と問題点、薬事法規、新薬と医療機器の審査の順で、非常に分かりやすい言葉でユーモアたっぷりにお話し下さり、PMDAを理解する上で佐藤 先生以上の適任者はいないと思わせる素晴らしい講義であった。私自身もそうであったが、PMDAについて「聞いたことはあるが、詳しくは分からない」から「新薬・医療機器開発におけるPMDAの役割と、抗癌剤開発をはじめ研究者・アカデミアがなすべきことを理解した」との思いに変わった聴講者も多かったのではなかろうか。続いて順天堂大学大学院教授の佐瀬 一洋 先生に講義していただいた。佐瀬 先生は、医師、研究者としてばかりでなく、国立 医薬品食品衛生研究所・医薬品医療機器審査センター(現PMDA)でのご経験もお持ちで、さらにご自身が肉腫患者であった視点からも新薬開発に対する考え・思いを述べられた。講演後にディスカッションが行われたが、お三人の先生には、常日頃コンビを組んでいるかのような息の合った掛け合いで、質問やコメントにお答えいただいた。予定時間をオーバーして、治験、混合診療、開発ラグなど多岐にわたる質問がでたが、PMDAが関わる範囲の広さと、本がンプロの参加者の新薬開発やより良い医療提供にける強い意気込みが表れたものと思う。

最後に本講義を聴講した学生の感想を紹介したい。これが本ICT講義の有用性・インパクトを物語っていると思う。

～近年、ドラッグ・ラグが起こるのは、「規制が厳しい・審査に時間がかかるから」という報道がなされることが多い。しかし、マスコミはこればかりを強調しているだけで詳細な情報は発信していないように感じる。今回の講義では佐藤先生にPMDAの業務、FDA・EMAとの違いや医薬品の開発・承認プロセスにおける問題点などを解説していただき、新薬開発には何が問題でそれに対しどの様に解決すべきかを考えることができた。また、佐瀬先生からはご自身の経験を絡めて、これまでの臨床研究における進展とそれに伴い発生した問題点を聞かせていただき、研究に対する心構えを見つめる良い機会になった。

(東京理科大学 薬学研究科博士前期課程1年 成田 匠) ～





先導的がん医療開発研究センターについて

順天堂大学大学院 医学研究科 がん生涯教育センター

助教 大津 洋
助教 今井 美沙

先端がん医療技術の進歩により、高度・先進医療、橋渡し研究など、臨床研究に大きな期待がかかっています。しかしながら、臨床研究の登録制度をはじめ、計画・実施・報告に対する厳しい目も向けられており、臨床研究を推進できる次世代先導的がん医療研究者の育成が必要です。そこで、順天堂大学では「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の一環として、がん医療研究者が臨床研究を実施する機会とさらなる訓練・指導をうけることのできる先導的がん医療開発センターを設置しました。センターでは、本年度4月よりがん生涯教育センターに着任した2人の専任教員の専門性（生物統計家、および基礎医学専門家・プロジェクトマネージャー）を生かし、臨床研究計画立案・計画書の作成指導およびコンサルタントを行います。代表的な支援内容については、図に示した通りです。

研究領域に関する基礎データベース活用による、計画書の精度を上げる支援

- 代表的ながんに関するデータベースの活用などによる、基礎実験からの臨床応用への橋渡し
- リサーチクエスションの明確化、似た研究との差別化の検討

研究デザインに関する検討・統計的側面からの支援

- 実施可能性の検討
- 実施体制、症例数設定に関するコンサルテーション
- 統計的な側面からの支援

専任職員以外の専門家を含めた広い視野でのレビュー後、必要に応じてセンター内に設置された「臨床研究計画検討委員会」での審議が行われ、多角的な観点での妥当性を評価します。センターでは臨床研究を実施する際の、計画立案・計画書の作成に着目することで、がん臨床研究の質の向上、さらにはがん医療研究の質を高めることを目標としています。本年7月より試験的に運用を開始し、10月より本格的に始動していく計画です。



Leading center for the development and research of cancer medicine

インテンシブコースについて

順天堂大学大学院 医学研究科 血液内科学 准教授 田中 勝

がんプロフェッショナル基盤推進プランにおける次世代先導的がん専門医療人養成インテンシブコースは、現在医療の現場で実際に働いているすべてのメディカルスタッフの方々を対象としています。

多くの医療分野がそうであるように、がん治療の分野においても、これまで日本で行われていた伝統的な考え方、方法のままで腫瘍に悩むすべての患者さんの問題に対処することは不十分であり、かつ許されない状況となっています。臓器別に腫瘍を捉える前に、腫瘍を系統的に横断的に捉える努力が要求されるのが、今や当然の世の中となっています。



その努力の第一歩をお手伝いする企画がインテンシブコースです。医師、看護師、薬学師、医学物理士など職種別にも必要となってくる講義を今後準備していく予定です。今年度に関しましては、がん臨床研究にはかせない「臨床試験統計」を中心に講義を開講しています。是非聴講してみてください。そこを出発点としてもう少し勉強を進めてみようと思って頂ける講義が必ずあると確信しております。このコースを学ばれた方々が、日本のがん治療のレベルを更にアップさせるリーダーとなって頂きたいと考えております。



がん教育・がんプロ協議会総会報告

順天堂大学大学院 医学研究科 分子病理病態学 教授 樋野 興夫

平成25年5月21日、平成25年度全国がんプロ協議会総会が開催された（筑波大学東京キャンパス文京校舎）。

【全国がんプロ協議会】とは、【がん医療に携わるがん専門医療人を養成する大学の取組を支援することを目的として、文部科学省が実施している「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の発展を目指し、参加している15拠点すべての大学による意見交換の場として設置された】ものである。

当日の議題は、年間行事、合同フォーラムの開催予定、がんプロ養成実績などを含め、中心は「全国版e-learningクラウド」についてであり、がんプロe-learningクラウド参加大学の活動進捗状況、ASCOのコンテンツ取組、著作権ガイドラインの運用などについて、議論がなされた。「がんプロフェッショナル養成プラン（平成19年度選定）」並びに「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（平成24年度選定）」に係る養成実績調査、がんに関連した講座の設置計画が、今後の課題となろう。

「がん医療人の育成」と「がん教育」の普及は、いまや、年齢を超えて、日本国民の緊急の課題であると痛感する。



Leading center for the development and research of cancer medicine

情報 コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- 連携大学ICT特別講義 テーマ「患者が求めるがん医療」
ゲストスピーカー：NPO法人 グループネクサス 代表 天野 慎介 氏
NPO法人 がんサポートかごしま 代表 三好 綾 氏
2013年5月14日(火) 18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校で開講
- 連携大学ICT特別講義 テーマ「新薬、機器開発 (PMDA)」
ゲストスピーカー：独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA) 審議役 佐藤 岳幸 氏
2013年6月12日(水) 18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校で開講

今後のスケジュール

● 連携大学ICT特別講義

テーマ「がん医療コーディネーター (CRC/共同研究コーディネーター)」

ゲストスピーカー：

独立行政法人国立がん研究センター、早期・探索臨床研究センター 臨床試験支援室 豊崎 佳代 先生

対 象：大学院生、医師・薬剤師・看護師など診療・教育・研究に携わる全ての医療人

2013年10月2日(水) 18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校で開講予定

● 外部評価委員会

2013年10月25日(金) 13:00～16:00 順天堂大学 10号館 1階 105カンファレンスルーム

ご参考

- 国際環境がん制御研究会 第4回シンポジウム(入場無料・事前登録不要) ※先着順・定員80名
—アスベスト予防と早期診断と治療—
2013年11月15日(金) 13:30～16:00 医科機器会館 東京都文京区本郷3-39-15
主 催：国際環境がん制御研究会 代表 樋野 興夫
お問合せ先：「国際環境がん制御研究会」 事務局 Email: jimukyoku@jkhkk.com

編集後記

第2回がん哲学外来市民学会(大会長 安藤潔 東海大学医学部教授)が東京ガーデンバレスで開催された(「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」後援)。会長講演「がん社会を支える社会ネットワークの構築に向けて」で始まり、ワークショップ「特色別がん哲学外来報告」、「全国のがん哲学外来紹介」は、勉強になった。シンポジウム「がん哲学外来市民学会への期待」とパネルディスカッションは、多数の参加者に大いなるインパクトを与えたようである。パネリスト：堀田知光先生(国立がん研究センター理事長)、門田守人先生(がん研究会有明病院病院長)、多和田奈津子氏(患者会ネクサスの副理事長)、岸本葉子氏(エッセイスト)、三浦公嗣氏(厚労省大臣官房技術総括審議官)の格調高い発表と、座長である本田麻由美氏(読売新聞)のニューモアを交えた進行によって、会場は満足感に包まれた。早速「先生がまかれた一粒の麦がこれほど多くの実をむすぶようになったのは驚きであり、また現代社会が必要としている最も大切なものと思われまふ。決して先生が説得して広めたものでなく、みんなが共鳴して広がっているのが何より本物である証拠だと思ひます。」との励ましのコメントを頂いた。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター 順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編 集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発 行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

7-3 ニュースレター第7号

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

2013
第7号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

がんプロFDワークショップについて 報告

島根大学 医学部緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦

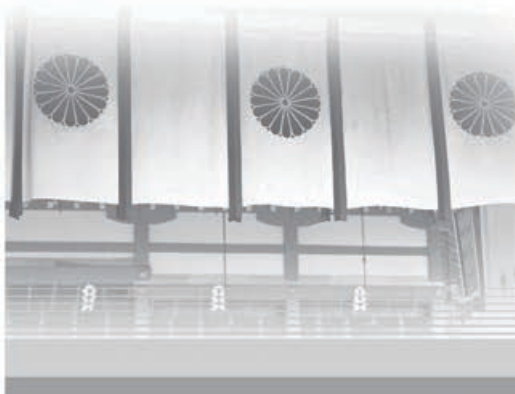


がんプロFDワークショップ(WS)が、神在の園(くに)緑結びの出雲市で9月14～15日に開催されました。今回の目的は、「地域中核病院でがん医療に携わるスタッフを育成するプログラムの作成」で、地域がん医療進展の具体的な方策をたてることにあります。

総勢50名の皆様が集まった中で、講演から始まりました。島根県で地域医療の最前線にいる各職種を代表して、外科医師からがん薬物療法専門医への道のりを、看護師・薬剤師の立場から地域中核病院のがん医療の現状と課題を、それぞれ熱く講演していただきました。

少ないスタッフで頑張っている地域医療者の姿に一同感銘を受け、WSのヒントもいただいた有意義な講演でした。WSでは4班に分かれて、医師(化学療法医、緩和ケア医)・看護師・薬剤師育成のプログラムの作成にあたりました。各班の皆さんは熱心に討議され、手際のよいまとめでWSを進めて下さり、翌日に各班の成果が披露されました。代表の方が、がん薬物療法専門医の育成、がん緩和医療医師の育成、緩和ケア認定看護師の育成、がん薬物療法認定薬剤師の育成を目的とするプログラムをそれぞれ発表して、活発な全体討議が行われました。これからの地域がん医療の発展に役立つプログラムを作成する目的を果たせたWSであったと考えます。

懸念していた台風が皆様の帰路の邪魔をせずにすんだことは、今回の「ご縁の賜」ではないかと感謝して、ご報告と致します。





がんプロFDワークショップに参加して 感想

岩手医科大学 放射線医学講座 教授 有賀 久哲



今回のがんプロFDワークショップは、モデル地域中核G病院におけるスタッフ育成プログラムの立案がテーマであった。診療科構成なども配布され、面白そうな企画と考えて参加した。しかし、町立奥出雲病院外科の鈴木 賢二 副院長から「がん薬物療法専門医への道のり」という基調講演をいただいて、会場の雰囲気が一変した。地域病院で働きながら専門医を取得することの難しさ・大変さを、参加者全員が改めて了解したのだと思う。多忙を極める地域病院の現場に、おそなりの教育プログラムでは機能しない。地域の具体的な問題に

深く関わり、少しでも実現性の高いプログラムを作成しようと、各グループが作業に没頭する様が見受けられた。江津総合病院というモデル的病院のスタッフ参加もよい刺激となった。完成したプロダクトは満足いくものとは言えないが、G病院のスタッフ教育のきっかけとなり、継続的にフォローできればと感じた。とても実りの多いFDを準備頂いた鳥根大学等のスタッフに心から感謝したい。



明治薬科大学 薬物治療学 教授 越前 宏俊

平成25年9月14(土)と15日(日)に鳥根大学と鳥取大学が共同主催したがんプロFDワークショップが国民宿舎くにびき荘にて開催された。「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」にふさわしく参加者は主催校の他、順天堂大学、岩手医科大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学と広域および多職種から構成された50名が参加した。テーマは「地域中核病院でがん医療に携わるスタッフを育成するプログラムの作成」であり、鳥根大学 蔵部 威 教授の開会宣言のあと、基調講演として町立奥出雲病院外科 鈴木 賢二 副院長が「がん薬物療法専門医への道のり」と題して、自らの体験を基に地域病院に勤務しつつ大学との協力関係のもとでがん薬物専門医の資格取得までの道のりを述べられた。さらに、済生会江津総合病院 大瀧 理砂 副看護部長から「済生会江津病院の現状と課題」、また同病院薬剤部 高橋和也 薬剤師から「がん診療に携わる地域中核病院の問題を薬剤師が思う」と題して、それぞれ典型的な地域中核病院におけるがん治療を支援する看護師と薬剤師の視点から考察した課題が発表された。午後は、参加者を地域性および医療職種が異なる4グループに分けてワークショップが実施された。目的は、地域中核病院でがん医療に携わるスタッフを養成する具体的なプログラムを作成することであり、この議論には午前中の講演の内容がきわめて有用であった。関東圏の参加者からは研修や人事交流なども視野に入れた提案がなされ、岩手医科大学の参加者からは同様の課題を共有する観点から貴重な提案がなされ、食事を挟んで白熱した議論は深夜に及んだ。明けて15日には、各グループのプロダクトが発表された。今回のFDワークショップは、地域中核病院におけるがん医療スタッフの養成をがんプロフェッショナル養成事業の枠組みのなかでICTと人事交流を生かして解決する具体的な方策の提言を得る貴重なものであった。



Leading center for the development and research of cancer medicine

順天堂大学

岩手医科大学

島根大学

鳥取大学

東京理科大学

明治薬科大学

立教大学

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 連携大学院 平成26年度募集案内

大学院・課程	コース名	養成する専門分野	修業 年限	日程
順天堂大学大学院 医学研究科 医学専攻	次世代先導的がん 研究者養成コース	がん研究医	博士： 4年 修士： 2年	【後期試験】 博士課程/修士課程 出願期間：平成25年11月18日(月)～平成25年12月18日(水) 試験日：平成26年1月9日(木) ※がんプロコース設置は博士課程のみ。
岩手医科大学大学院 医学研究科 医科学専攻	緩和ケア地域連携を 支援する指導的医療人 育成コース	緩和医療	博士： 4年 修士： 2年	【第1回】 出願期間：平成25年10月11日(金)～平成25年11月11日(月) 試験日：平成25年11月29日(金) 【第2回】 出願期間：平成26年1月29日(水)～平成26年2月19日(水) 試験日：平成26年2月28日(金)
島根大学大学院 医学系研究科 医科学専攻	地域がん専門医育成コース	がん化学療法	4年	出願期間：平成26年1月6日(月)～平成26年1月10日(金) 試験日：平成26年2月6日(木)
島根大学大学院 医学系研究科 医科学専攻	地域がん専門医育成コース	緩和医療	4年	出願期間：平成25年9月2日(月)～平成25年9月6日(金) 試験日：平成25年10月15日(火)
鳥取大学大学院 医学系研究科 保健学専攻	がん看護専門看護師コース	がん看護専門看護師	2年	未定 【備考】平成27年度 がん看護専門看護師コース設置予定
鳥取大学医学部附属病院 看護師キャリアアップ センター	がん看護専門(認定) 看護師養成コース	認定看護師 (がん化学療法看護) (平成26年度は休講)	7か月	未定 【備考】平成26年度から 乳がん看護認定看護師養成に変更予定 (看護協会に申請中)
東京理科大学 薬学研究科 薬科学専攻修士課程	がんシステム・ 創薬研究者養成コース	創薬医科学	2年	出願期間：平成25年7月10日(水)～平成25年7月19日(金) 試験日：平成25年8月21日(水)英語、専門科目 22日(木)面接 他大学等からの推薦入試、社会人特別選抜も行っております。 詳しくは直接お問い合わせください。
明治薬科大学大学院 薬学研究科 薬学専攻博士課程	がん薬物療法の ファーマシー・サイエンティスト 養成教育コース	薬剤師	4年	予備審査出願期間：平成25年11月5日(火)～11月15日(金) 出願期間：平成25年11月28日(木)～平成25年12月5日(木) 試験日：平成26年1月11日(土) ※出願資格の認定が必要な受験者の場合、予備審査を行う。
立教大学 理学研究科 物理学専攻	医学物理研究コース	医学物理士	3年	出願期間：平成26年1月14日(火)～平成26年1月17日(金) 試験日：平成26年2月22日(土)

○インテンシブコース

順天堂大学大学院 医学研究科 医学専攻	次世代先導的がん 専門医療人養成コース	がん治療	1年間 (20講義)
島根大学大学院 医学系研究科医科学専攻 (鳥取大学大学院医学系 研究科医学専攻)	山陰がん認定医療スタッフ 育成コース (鳥取大学との合同事業)	地域がん認定医療	1年間
鳥取大学医学部附属病院 がんセンター	山陰がん認定医療スタッフ 育成コース (鳥取大学との合同事業)	地域がん認定医療	1年間
岩手医科大学大学院 医学研究科 医科学専攻	先導的がん臨床研究に 精通した医療人育成コース	トランスレーショナル リサーチ(TR) マネジメント	1年間 (3単位)
	先導的がん臨床研究に 精通した医療人育成コース	レギュラトリー サイエンス	1年間 (3単位)



出願の際は必ず「各校の募集要項」にて
詳細をご確認のうえ、出願してください。



Leading center for the development and research of cancer medicine

情報 コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- **連携大学ICT特別講義** テーマ「がん医療コーディネーター（CRC/共同研究コーディネーター）」
スピーカー：医薬品安全管理学教授 遠藤 一司 先生
独立行政法人国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター、臨床試験支援室 豊崎 佳代 先生
2013年10月2日（水）18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校で開講
- **講演会** テーマ「がんの薬物療法を学んでみませんか～抗がん薬によるがんの治療を安全に行うために～」
主催：明治薬科大学
2013年10月19日（土）13:00～14:30 明治薬科大学清瀬キャンパス講義棟1階104講義室
- **市民公開講座** テーマ「優しいがん医療に必要なこと・人～患者と医療者を繋ぐ～」
主催：岩手医科大学
2013年10月20日（日）13:00～ いわて県民情報交流センター・アイーナ804会議室
- **外部評価委員会**
2013年10月25日（金）13:00～16:00 順天堂大学 10号館1階105カンファレンスルーム
- **岩手医科大学 がんプロ地域シンポジウム** テーマ「がん医療連携 地域の取組みと首都圏大学からの提案」
2013年11月8日（金）16:00～ 岩手医科大学創立60周年記念館 9階 第2講義室
- **立教大学 がんプロ研究シンポジウム** テーマ「医学・産業・物理学を結ぶ放射線がん治療研究者育成を目指して」
2013年11月9日（土）13:00～16:30 立教大学12号館地下1階第3・4会議室

今後のスケジュール

- **東京理科大学 がんプロ市民公開シンポジウム**
2013年11月29日（金）13:00～15:30 東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館地下1階第1フォーラム
 - **連携大学ICT特別講義** テーマ「病診連携と地域医療、MSW」
司会：鳥根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 助教 須谷 顕尚 先生
2014年1月16日（木）18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校で開講予定
 - **第2回臨床研究チーム合宿** 2014年2月22日（土）～23日（日） 開催予定
- ご参考
- **お茶の水がん学アカデミア100回記念シンポジウム ～病理・腫瘍学 教授就任10周年記念～**
2013年12月14日（土）10:30～15:00 東京ガーデンパレス 2F 高千穂

編集後記

文科省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」外部評価委員会が開催された（順天堂大学に於いて）。熱心な発表と質疑が交わされ、大変有意義な貴重な学びの時であった。筆者は、「閉会挨拶」の任が与えられた。「医療の幕末」から「医療の維新」への時代の真ん中に置ける「人材の資質・育成」について話し、「勝海舟」の先見性、「新渡戸稲造」の国際性に触れた。「がん教育」も時代の要請となって来た。「人を動かす底力のある真のリーダー」の出現の時代的到來でもある。

- 1) 「高い純度のある、がんの専門性」と文化的包容力
- 2) 「自らを教材として示す風貌」と器量と度量
- 3) 「30年先を明日の如く語る」胆力と先見性

「賢明な寛容」を備えた「真の国際性」を目指したいものである。真の「人間の主治医」の何たるかの大切な学びの時でもある。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター 順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

7-4 ニュースレター第8号

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

2014
第8号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

全国がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

合同フォーラムについて

1月21日の開催

順天堂大学 放射線治療学講座 教授 笹井 啓資

全国がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン合同フォーラム(FD・ポスターセッション)

さる2014年1月21日東京大学山上会館で全国がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン合同フォーラム(FD・ポスターセッション)が開催されました。

ポスターセッションは選定された全国の15拠点が一堂に会し、その取組内容の現状を広く社会へ情報発信するものでした。本学からも参加7大学の取り組みの概要、各大学院コースおよびインテンシブコースの紹介、教育内容に関して発表されました。

FDでは放射線治療が取り上げられました。放射線治療はがんプロの重要な課題で、がんプロにより教育体制が整備されてきています。しかしながら、まだまだ克服しなければならない問題点も多いためテーマとされたものと考えます。放射線治療医、物理士など放射線治療教育関係者(48名)ばかりでなく、その他の幅広い分野からも54名、合計102名の参加があり、熱心な検討が行われました。また、昼食時間中には日本で最も優れた放射線治療施設の1つである東京大学医学部附属病院の施設見学会が開催され、内容の充実と最新機器に感銘しました。

午前中は放射線治療第一線の指導者から放射線治療について解説がありました。まず京都大学平岡教授から基調講演として放射線治療の現状と将来展望についての講演があり、引き続いて粒子線治療について北海道大学白土教授、医学物理に関して大阪大学小泉教授、化学放射線治療の現状について山形大学根本教授、放射線治療の基礎である放射線生物とその応用に関して近畿大学西村教授から基礎から最先端までの解説があり、参加者一同放射線治療の有用性と将来性を理解しました。



昼食後、笹井が放射線治療分野における「がんプロ教育の現状」について日本放射線腫瘍学会・がん放射線治療推進委員会によるアンケート調査結果(主査 九州大学 中村准教授)に関して報告いたしました。

次にFDとして、参加者が各グループに分かれ「放射線治療医以外のがん治療医や他職種が放射線治療医に求めること」「放射線治療大学院教育の現状と問題点」「医学物理教育の現状と問題点」に関して討論後、その内容について発表がなされました。放射線治療の教育、診療、研究を行う者として実りある意見を聞くことができました。今回の合同フォーラムは素晴らしい内容で私達放射線治療関係者にも、また放射線治療にあまり親しみのない医療関係者にも有意義な1日でした。関係各位に深く感謝しております。



第2回 臨床研究研修会(合宿)について

2/22(土)

大洗海岸病院 薬剤師 杉山 奈津子



今年の臨床研究研修会に参加して

この合宿の参加者は、がんプロの学生、そのOB、社会人公衆、教員からなり、職種・学部は主に、医師、看護師、薬剤師、統計家、医学物理士、臨床検査技師等が参加する多職種合宿である。臨床では、チーム医療は近年かなり進んでおり、問題は減りつつあるように思える。そんな中、チームで臨床研究を行うための合宿を行う意図はどこにあるのだろうか。従来、臨床研究は個々の専門性の追求で行われることが多く、チームが必要な意図がわからないと思われがちだ。さらに、社会人になってから、同僚に「合宿に参加する」というと、通常は不思議に思われる。その意味が、この合宿に参加することで明らかになるのだ。



私は東京理科大学のがんプロ大学院の課程を終了し、地方の病院に勤務する薬剤師であるが、地方の現状とがんプロ参加病院の現状とかなり異なることを感じていた。今回の課題として、そのような現状を話してみよう、と思い望んだが、皆の課題発表を聞いていると、それぞれの環境で問題点や課題を実感しつつ、少しでも改善したいという気持ちで日々過ごしていることがわかった。

課題発表の後、その中からグループワークとして、1つのVISIONを決めなくてはならなかった。どの課題発表も非常に重要であり、なかなか一つに決められず、VISIONとMISSIONを決めるために、23時までの7.5時間を全て費やす結果となってしまった。23時以降は、会場が使えないため、チーム全員が集まれる部屋を探し、proposal sheet（臨床研究の概要書）の作成を開始した。結局、深夜までかかってやっと完成にこぎつけた。

私はがんプロ学生の間、毎年この合宿に参加してきたが、その度にいつも多くのことを学んできた。毎回、班員やテーマが異なるので、自然と自分の学ぶべき内容も異なっていた。一度参加したら、もう参加しなくてもいいかな、と思う気持ちが生じて当然なのだが、一度も感じたことがない。今後も機会があれば、何度でも参加したいと思っている。

そして今回は、近年盛んに行われてきている臨床研究において、チーム医療が必須であることを実感し、多くの実りを得て帰路についた。ぜひ、皆様にも、この実り多き合宿を一度体験していただきたいと思う。



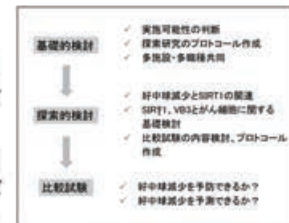
・23(日)開催



島根大学 医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 助教 津端 由佳里

がんプロ臨床研究の進捗状況

昨年3月に第1回臨床研究チーム合宿が開催された。幸運(?)なことに私の参加したチームが最優秀に選ばれ、喜んだのも束の間、この臨床研究合宿での最終プレゼンはゴールでなくスタートなのだという現実と直面した。臨床研究のタイトルは「がん化学療法に伴う好中球減少とNAMPT活性およびSIRT1遺伝子発現に関する検討」である。この研究を、がんプロの期間内に多施設共同で実施し、なんとか形にしなければならないという使命を背負い、当初は非常に重圧に感じていたが、東京理科大学 薬学部 薬学科 製剤学教室の堀口先生をはじめとし、臨床研究合宿で同じチームのメンバーだった軽部君や鈴木君などの協力を得、まずはボランティアの血液検体を用いて、それぞれの因子の測定が可能かどうか、輸送の安定性はどうか、などの検証から着手した。実際に東京理科大学との共同作業を開始してみると、意外にスムーズに研究は進行し、現在、島根大学のIRB承認後、少人数の肺がん患者を対象とした検討を実施している。すでに予定症例数の登録は終え、測定結果を待っている段階である。あの研究合宿以来、一度も堀口先生にはお会いできていないが、TV会議を重ねることで距離のハンデを十二分に埋めることが可能であり、これこそまさにICTのチカラと実感している。本研究の進捗状況の詳細は、先日の第2回臨床研究合宿でご報告させていただいたが、今後は先導的がん医療開発研究センターからのご支援も得ながら、他の連携大学の皆様にもぜひご参加いただき、全国のがんプロでも初の共同研究結果の学会報告・論文文化へ向け、この研究をさらにステップアップさせていきたい。この場をお借りして、ご協力いただいている東京理科大学 薬学部 薬学科 製剤学教室の皆様へ厚く御礼を申し上げますとともに、近日中に連携大学の皆様へも症例の集積や測定など、ご協力のほど依頼させていただければと存じますので、その際にはどうぞよろしくお願いいたします。



平成26年度先導的がん医療開発研究センターの活動について

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター
助教 今井 美沙

順天堂大学と連携7大学を結ぶ臨床・研究拠点である「先導的がん医療開発研究センター」では、来年度より研究の為に情報提供ツールとして、OncoPrintTM Research Premium Editionを導入いたします。このデータベースを本プログラムの橋渡し研究の基盤とし、専任教員が積極的に連携大学間を回り、人材交流の活性化、また医科系大学と非医科系大学間での橋渡し研究の基礎を固めていきたいと思っております。

また、海外や国内で開かれる学会に積極的に参加し、最新の研究情報を発信していく他、海外の施設との研究・研究者交流の基盤を整える予定でおります。さらに、患者の立場に立ったがん医療実現に向け、社会で活躍されている元がん患者さんや、女性の社会進出の観点も含めた一般市民に向けセミナーを定期的に開催し、市民にむけた情報発信にも注力して参ります。来年度も、本プログラムの拠点として先導的がん医療開発研究センターを積極的に活用していただければと思っております。



Leading center for the development and research of cancer medicine

情報 コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- **東京理科大学 がんプロ市民公開シンポジウム**
テーマ「不治の病から切らずに治す時代への展望と問題点」
2013年11月29日(金) 13:00～15:30 東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館地下1階第1フォーラム
- **順天堂大学 講演会** テーマ「Notch研究の最前線～ショウジョウバエ研究から次世代抗がん剤の開発～」
講師：米国ベイラー医科大学 山本 慎也
2013年12月11日(水) 18:00～19:30 順天堂大学センチュリータワー北3F 307教室
- **お茶の水がん学アカデミア100回記念シンポジウム～病理・腫瘍学 教授就任10周年記念～**
テーマ「がん研究とがん対策」
2013年12月14日(土) 13:00～15:00 東京ガーデンバレス 2F 高千穂
- **明治薬科大学 がんプロ国際シンポジウム**
第1回講演：Role of the Drug Information Pharmacist at an Academic Medical Center
2014年1月8日(水) 10:50～12:10 明治薬科大学清瀬キャンパス フロネシス棟8112教室
第2回講演：Intra-CSF administration of chemotherapy medications
2014年1月11日(土) 14:00～16:00 明治薬科大学清瀬キャンパス 講義棟104号教室
講師：Michael Gabay, Pharm D
Clinical Associate Professor, Department of Pharmacy Practice, University of Illinois at Chicago
- **連携大学ICT特別講義1** テーマ「病診薬連携と地域医療、MSW」
2014年1月16日(木) 18:30～20:00 講師：鳥根大学 呼吸器・臨床腫瘍学 磯部 威 教授
- **市民公開講座** テーマ「遺伝情報を知ってがんの予防ができる時代がやってくる？」
2014年2月15日(土) 13:00～17:00 順天堂大学センチュリータワー 南8階 会議室他
- **第2回臨床研究研修会(合宿)**
テーマ「理想のがん医療・がん研究ができる未来を創出しよう！～多職種で学び、多施設連携を実現しよう！～」
2014年2月22日(土)～23日(日) 順天堂大学センチュリータワー 北6階 他
- **明治薬科大学 講演会** テーマ「がん薬物療法における薬剤師の関わり」
講師：長野市民病院 薬剤師 久保田 豊 先生
2014年3月8日(土) 13:00～16:00 明治薬科大学清瀬キャンパス 101教室

今後のスケジュール

- **順天堂大学 シンポジウム**
テーマ「国際教養学のすすめーグローバル時代を生き抜くがんプロフェッショナルの育成を目指してー」
特別講演：猪口 邦子 参議院議員、元軍縮会議日本政府代表部特命全権大使
山本 忠道 駐ハンガリー特命全権大使、前ユネスコ日本政府代表部特命全権大使
2014年6月28日(土) 13:30～16:00 順天堂大学 センチュリータワー 南8階 会議室

編集後記

2月は、東京は記録的な大雪であった。種々のものが、キャンセルとなり、外出することもなく、自宅で思いのほか、静かな勉強の時間が与えられた。25年前の自分の文章に触れた。驚くべきことに基軸は、なんの進歩もなく、ただただ、文章の語彙に肉付けが付いた程度である。「人間存在」の何たるかを、静思する時となった。「文科省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業」の2日間の研修会(順天堂大学)に出席し、「閉会の辞」で、「対話学のすすめ」を語った。「人材育成の原点」の気づきでもあった。「時代を動かすリーダーの清々しい胆力」としての「人間の知恵と洞察とともに、自由にして勇気ある行動」(南原繁著の「新渡戸稲造先生」より)の文章が思い出される今日この頃である。「国民の理想とビジョンをつくり出すのは、根本において教育と学問のほかにない」(南原繁)。まさに「一点突破、全面展開」である。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター 順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

第 3 編

各委員会議

1. 運営連絡会

1-1 がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (25-1)

(1) 日時、場所

開催日時：平成 25 年 4 月 30 日（火）15:00～

開催場所：順天堂大学

(2) 議題

1. 平成 25 年度事業予定（年次計画・順天堂大学と各連携大学の役割分担等）
2. 「e-learning 共通講義」「連携大学 ICT 特別講義」について
3. 「外部評価委員会」実施について
4. 各連携大学よりの連絡事項
5. その他
先導的医療開発研究センター 臨床・基礎研究について
事務関連 予算・調書・財務

1-2 がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (25-2)

(1) 日時

開催日時：平成 25 年 6 月 12 日（火）17:00～

(2) 議題

1. H25.9.14 FD 多職種コミュニケーション研修
2. H25.10.25 外部評価委員会準備状況
3. 先導的がん医療研究者育成プログラムについて
4. 平成 25 年度事業予定・履修状況
5. 全国がんプロ協議会について
6. 各連携大学よりの連絡事項
7. その他

1-3 がんプロ連携7大学運営連絡会（TV会議）（25－3）

(1) 日時

開催日時：平成25年7月9日（火）14:15～

(2) 議題

1. H25.9.14 FD多職種コミュニケーション研修
2. H25.10.25 外部評価委員会準備状況
3. 先導的がん医療研究者育成プログラムについて
4. e-learning クラウド運用状況
5. 連携ICT実施状況
6. 各連携大学よりの連絡事項
7. その他
全国がんプロ協議会養成実績調査

1-4 がんプロ連携7大学運営連絡会（TV会議）（25－4）

(1) 日時、場所

開催日時：平成25年9月14日（土）15:00～

開催場所：国民宿舎くにびき荘 第2会議室（平成25年度 連携FD研修会にて開催）

(2) 議題

1. 平成25年度 連携FD研修会について
2. 外部評価委員会の開催について
3. 全国がんプロe-Learningクラウドへの授業登録状況について
4. 連携ICT特別講義の開催予定について
5. 先導的がん医療研究者育成プログラムについて
6. 次年度予算等について
 - 1) 平成25年度の予算配分
 - 2) 平成24年度 実績報告書に対する文科省からの照会・回答
 - 3) 補助金からの支出可否一覧（順天堂大学作成）
7. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
8. その他

1-5 がんプロ連携7大学運営連絡会（25－5）

(1) 日時、場所

開催日時：平成25年10月25日（金）（外部評価委員会終了後）16:30～

開催場所：センチュリータワー南棟13階

(2) 議題

1. 外部評価委員会の振り返り
2. 先導的がん医療研究者育成プログラムの進捗状況について
3. 第2回 臨床研究研修会[合宿]の開催について
4. 次年度予算等について
5. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
6. その他（連携大学 ICT 特別講義出席状況）

1-6 がんプロ連携7大学運営連絡会（TV 会議）（25－6）

(1) 日時

開催日時：平成25年12月10日（火）14:15～

(2) 議題

1. 外部評価委員会の外部評価委員からの評価について
2. 全国がんプロ協議会：第2回全国がんプロ合同フォーラム（放射線FD）について
3. 全国がんプロ協議会：第2回緩和医療部会について
4. 先導的がん医療研究者育成プログラムの進捗状況について
5. 第2回 臨床研究研修会[合宿]の開催について
6. 次年度の年次計画案・予算案について
7. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
8. その他

1-7 がんプロ連携7大学運営連絡会（25－7）

(1) 日時、場所

開催日時：平成26年1月21日（火）17:00～

開催場所：フォーレスト本郷 1階 バンケットルーム

(2) 議題

1. 第2回 臨床研究研修会[合宿]の開催について
2. 先導的がん医療研究者育成プログラムの進捗状況について
3. 平成26年度 ICT 特別講義（予定）について
4. 平成24年度実績報告に関する照会（新日本有限責任監査法人）
5. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
6. その他

1-8 がんプロ連携7大学運営連絡会（TV会議）（25－8）

(1) 日時、場所

開催日時：平成26年2月18日（火）17:00～

(2) 議題

1. 平成26年度 先導的がん医療開発研究センター活動方針について（Oncomine Reserch 導入の提案）
2. 先導的がん医療研究者育成プログラムの進捗状況について
3. 次年度予算方針案（補助金交付予定額）について
4. 第2回 臨床研究研修会[合宿]実施要領案について
5. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
6. その他

文部科学省 平成 24 年度
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業

平成 25 年度活動報告書

発行：順天堂大学先導的がん医療開発研究センター
順天堂大学がん生涯教育センター
東京都文京区本郷 2-1-1

許可なく転載・複製を禁じます。

